

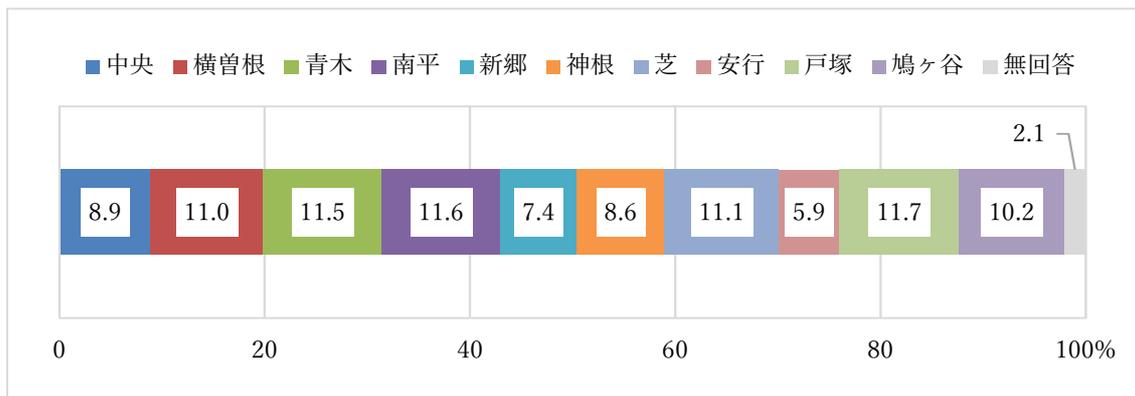
## 第2章 調査結果（市民）

# 1 属性項目

## 問1 居住地

回答者の居住地は以下ようになります。

●居住地（回答者数 915）

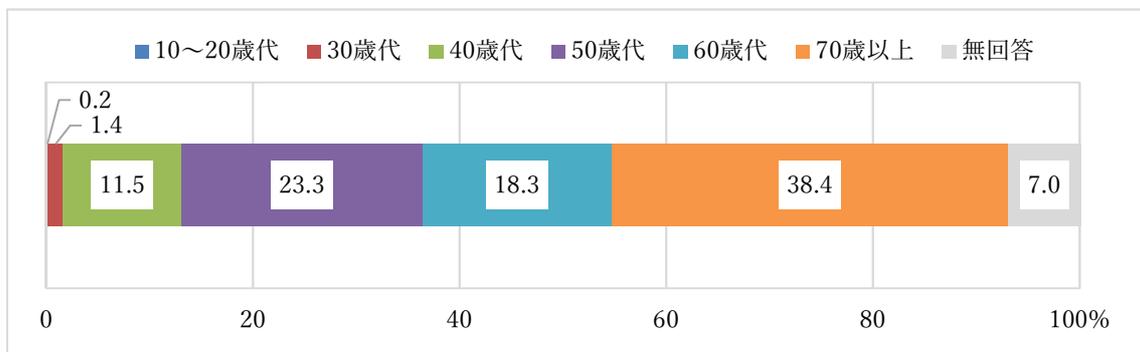


## 問2 年齢

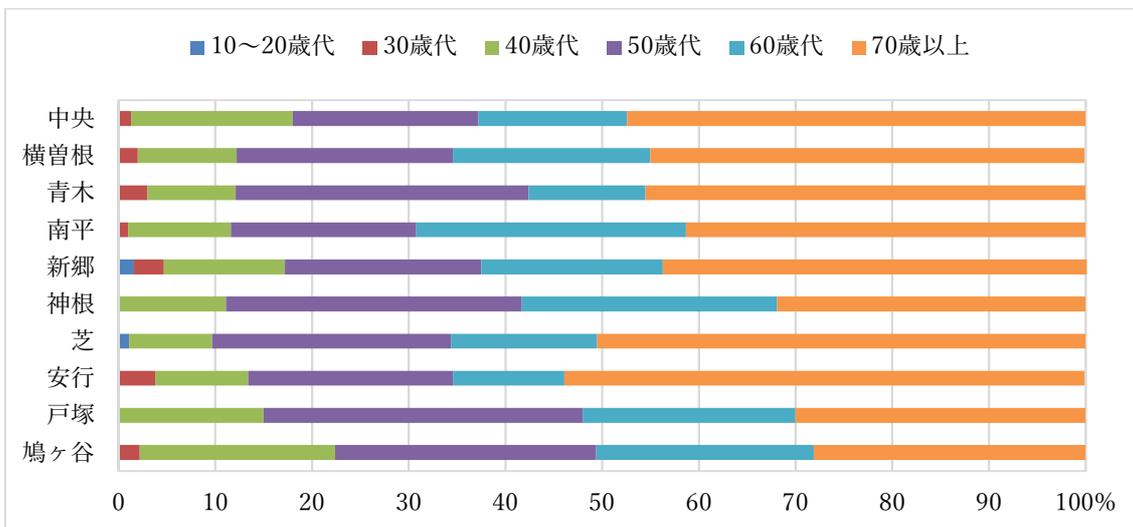
回答者の年齢は「70歳以上」が38.4%と最も多くなっています。「10～20歳代」は0.2%、「30歳代」は1.4%と他世代と比べて少なくなっています。

地域別にみると、ほとんどの地域で「70歳以上」が最も多く、芝と安行では半数を超えています。神根、戸塚、鳩ヶ谷では「50歳代」と「70歳以上」がほぼ同率でした。（次頁図）

●年齢（回答者数 915）



●年齢（地域別）



### 問3 世帯構成

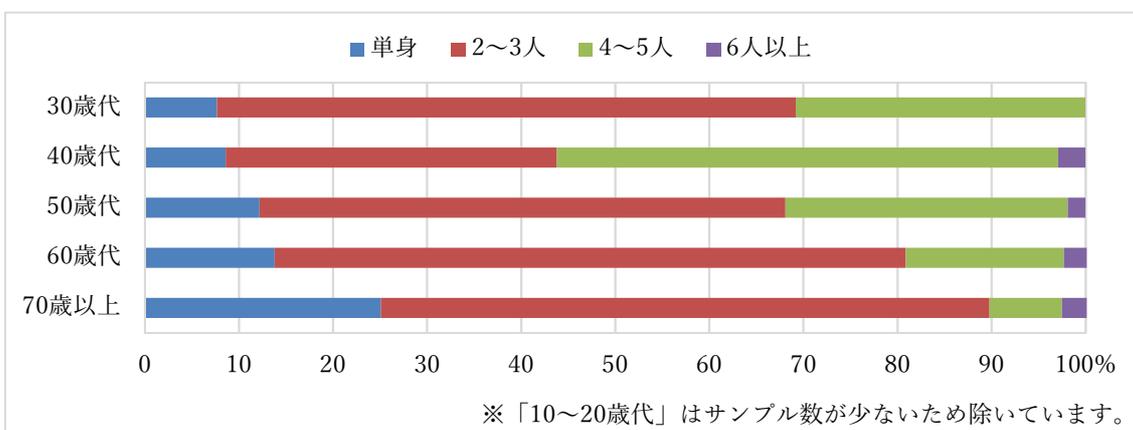
世帯構成は「2~3人」が59.0%と最も多くなっています。

年齢別にみると、40歳代は「4~5人」が多く、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「2~3人」が多くなっています。

●世帯構成（回答者数915）



●世帯構成（年齢別）



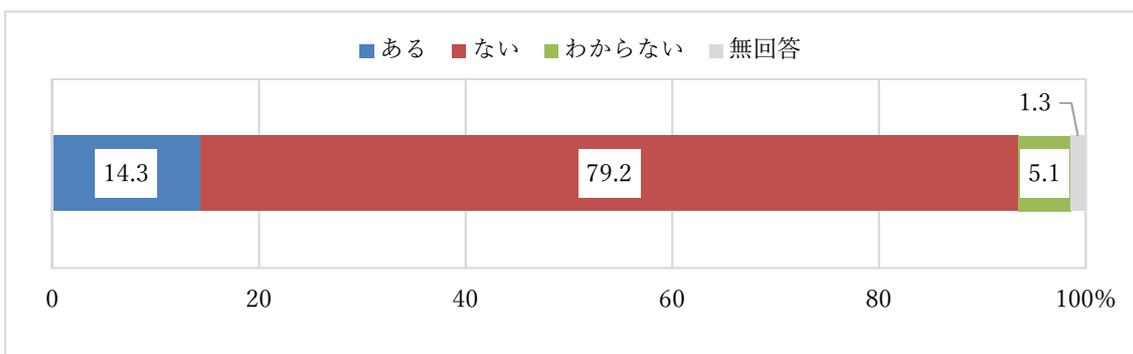
※「10~20歳代」はサンプル数が少ないため除いています。

#### 問4 貯水槽（高置水槽・受水槽など）の有無

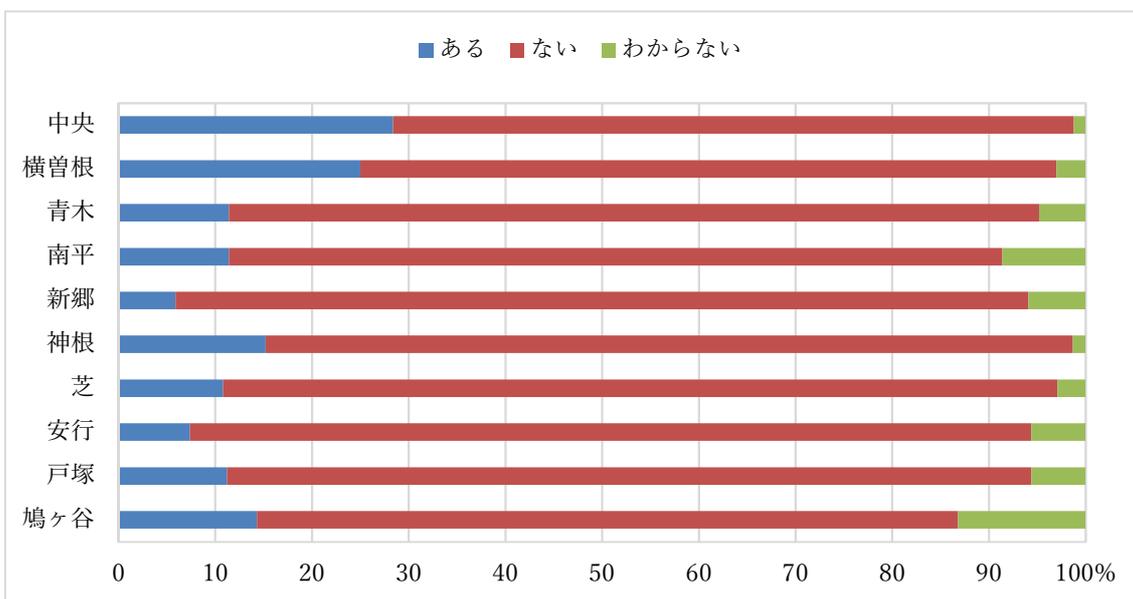
貯水槽の有無は「ない」が79.2%と最も多くなっています。

地域別にみると、中央と横曽根で「ある」と回答した方の割合が他の地域より高くなっており、マンションなどの高層建物が多いためと予測できます。

●貯水槽（高置水槽・受水槽など）の有無（回答者数 915）



●貯水槽（高置水槽・受水槽など）の有無（地域別）



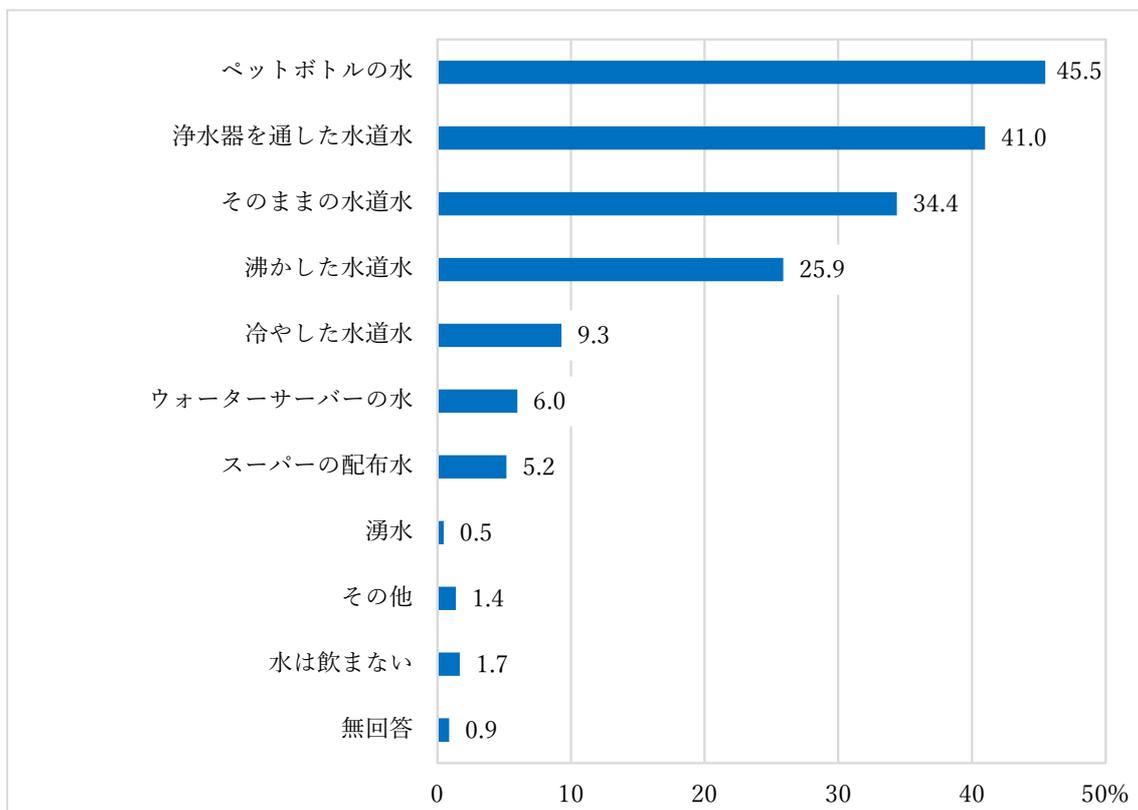
## 2 水道水について

### 問5 普段の飲料水（複数回答）

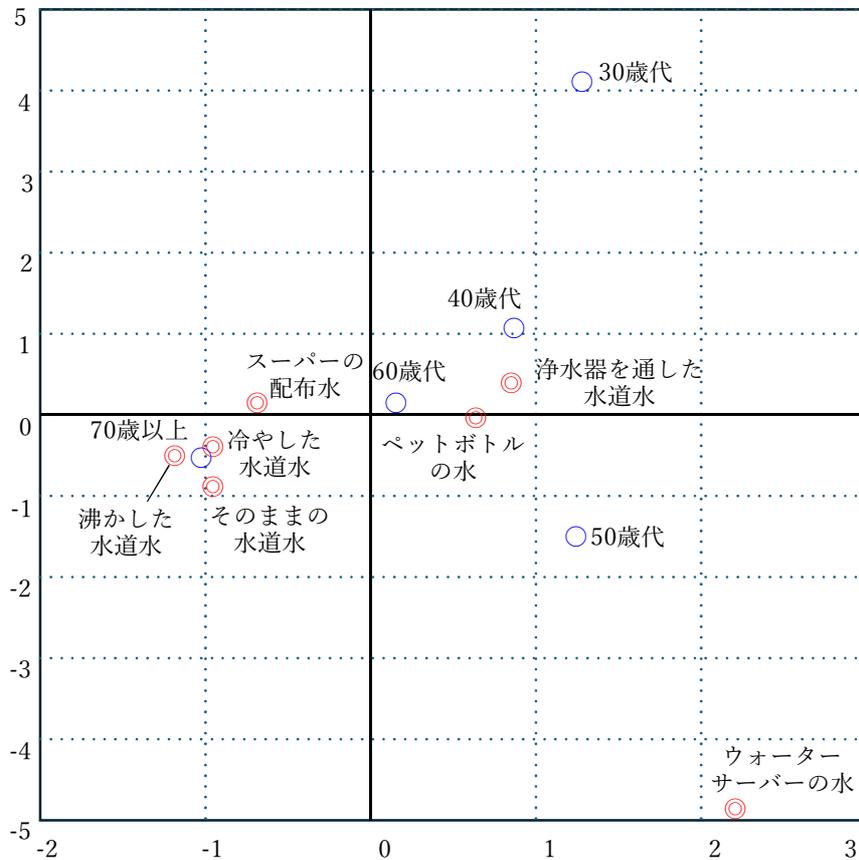
普段の飲料水は「ペットボトルの水」が45.5%と最も多く、次いで「浄水器を通した水道水」(41.0%)、「そのままの水道水」(34.4%)、「沸かした水道水」(25.9%)となっています。「井戸水」は回答がありませんでした。

年齢との関係性（コレスポンデンス分析）をみると、40歳代は「浄水器を通した水道水」、60歳代は「ペットボトルの水」、70歳以上は「冷やした水道水」、「沸かした水道水」、「そのままの水道水」を好む傾向がみられます。（次頁図）

● 普段の飲料水（回答者数 915）



● 普段の飲料水（年齢別・コレスポンデンス分析）



※「10～20歳代」、「湧水」はサンプル数が少ないため除いています。

【コレスポンデンス分析】

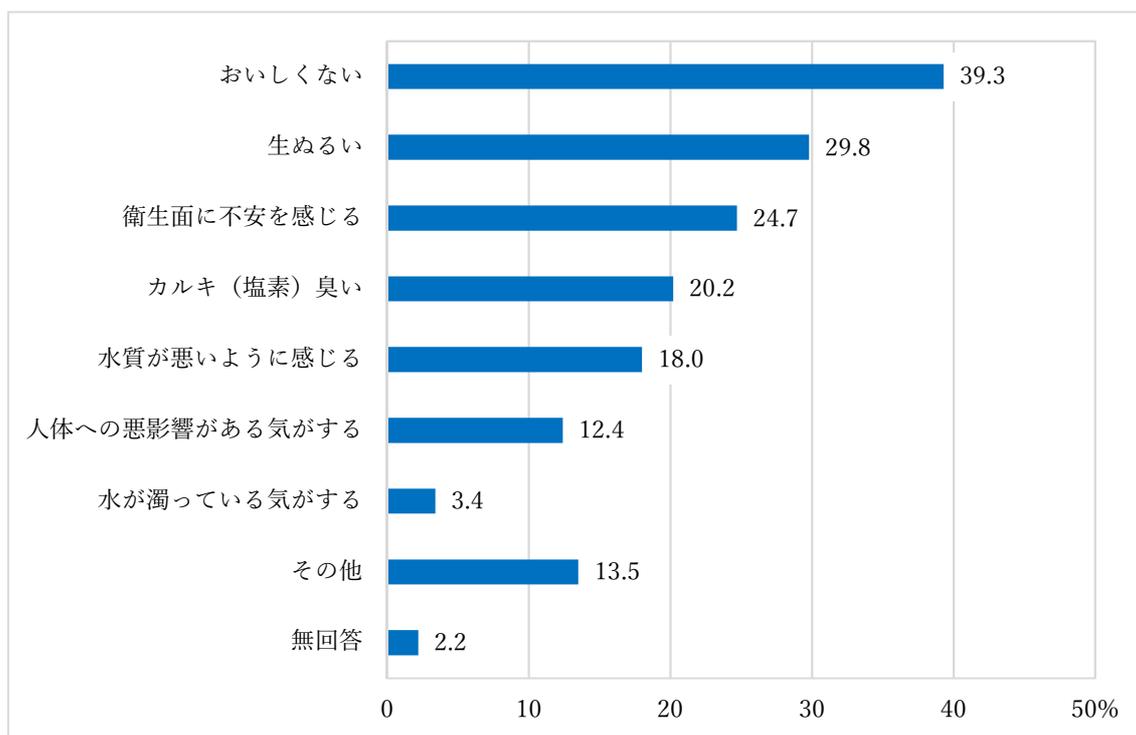
コレスポンデンス分析とは、複数の変数間の類似度や関係性を調べる手法で、結果を散布図にしています。散布図上で近くにある項目は、類似度や関連性が高いことを示しています。

### 問5-1 水道水を飲まない理由（複数回答）

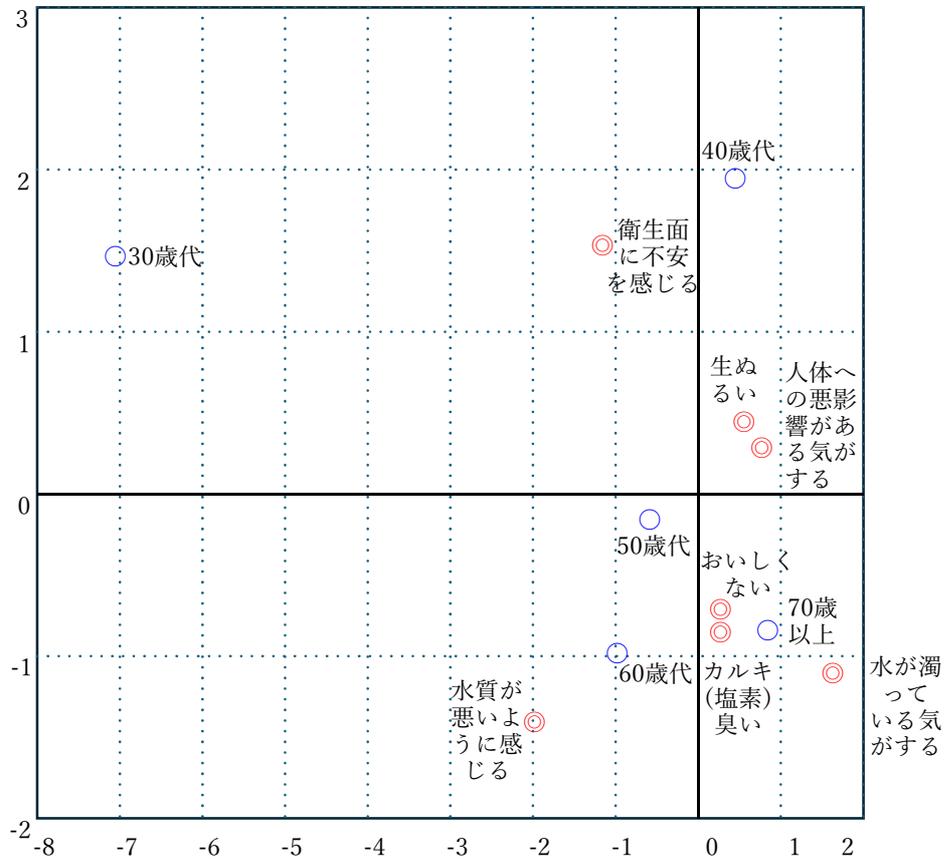
問5で水道水を飲まないと回答した方の理由は、「おいしくない」が39.3%と最も多く、次いで「生ぬるい」（29.8%）、「衛生面に不安を感じる」（24.7%）、「カルキ（塩素）臭い」（20.2%）となっています。その他の自由記述の内容も上記に類似したものが多く見受けられました。

年齢との関係性（コレスポネンズ分析）をみると、40歳代では「衛生面に不安を感じる」方が多く、50歳代では「生ぬるい」、「人体への悪影響がある気がする」方が多い結果になりました。60歳代では「カルキ（塩素）臭い」と感じる方が多く、70歳以上では「水が濁っている気がする」方が多く、「おいしくない」と感じる方は50歳代、60歳代、70歳以上の方で多くなっています。（次頁図）

●水道水を飲まない理由（回答者数 178）



●水道水を飲まない理由（年齢別・コレスポンデンス分析）

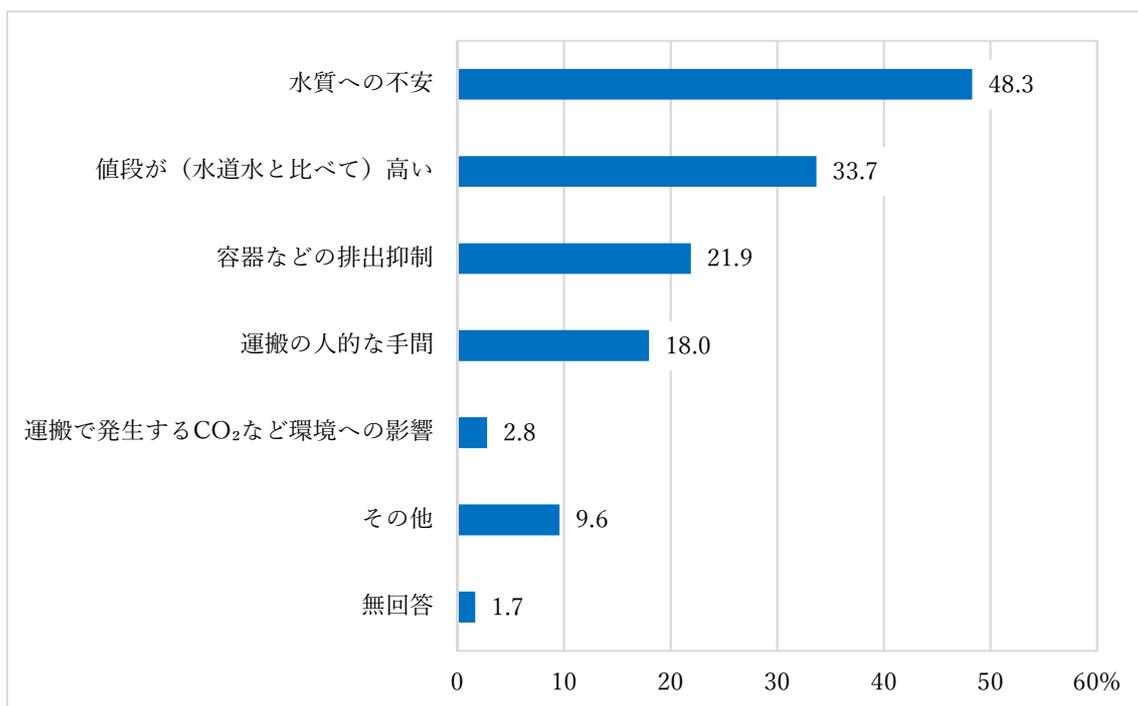


※「10～20歳代」はサンプル数が少ないため除いています。

## 問5-2 水道水を飲むようになるきっかけ（複数回答）

問5で水道水を飲まないと回答した方が、今後水道水を飲むようになるとするならば、切り替えるきっかけは、「水質への不安」が48.3%と最も多く、次いで「値段が（水道水と比べて）高い」（33.7%）、「容器などの排出抑制」（21.9%）となっています。その他として「水のおいしさ、味」（7件）、「臭い」（2件）などの意見がありました。

●水道水を飲むようになるきっかけ（回答者数178）



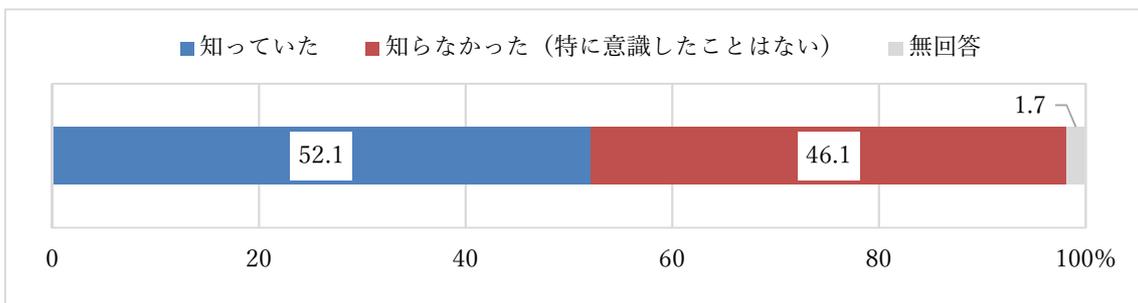
### 3 水道管について

#### 問6 給水管が個人の所有物であることの認知

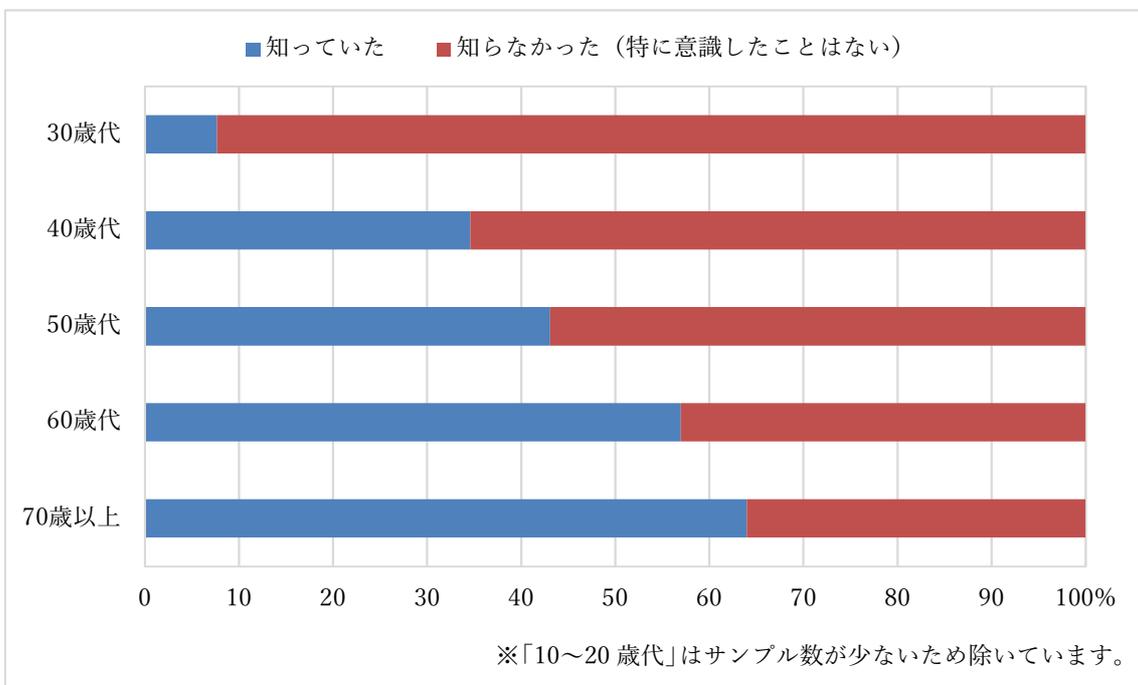
水道管の本管から宅内などへ分岐している管（給水管）が、個人の所有物であることを「知っていた」と回答した方の割合は52.1%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、給水管が個人の所有物であることを知っている方の割合が増えています。

●給水管が個人の所有物であることの認知（回答者数 915）



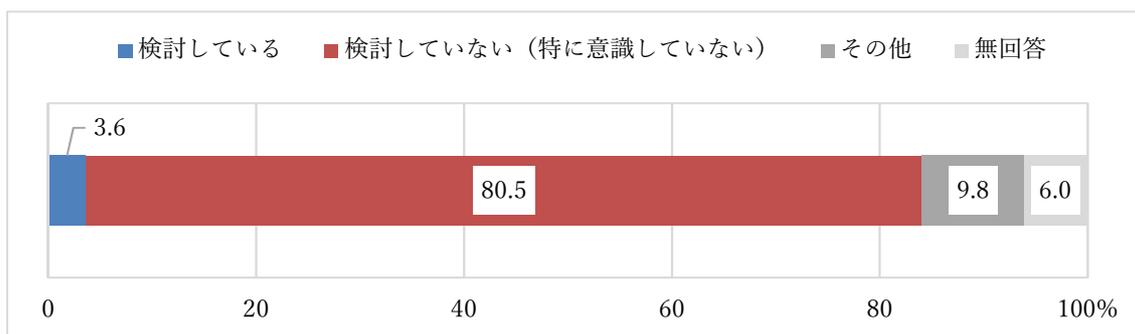
●給水管が個人の所有物であることの認知（年齢別）



## 問7 今後の給水管の更新・修繕

戸建て住宅の給水管は耐用年数40年とも言われていますが、今後、給水管の更新・修繕について、「検討している」と回答した方の割合は3.6%でした。その他として「戸建てではなく、マンションに住んでいる」(21件)、「既に更新を行った」(11件)などの意見がありました。

●今後の給水管の更新・修繕 (回答者数 915)



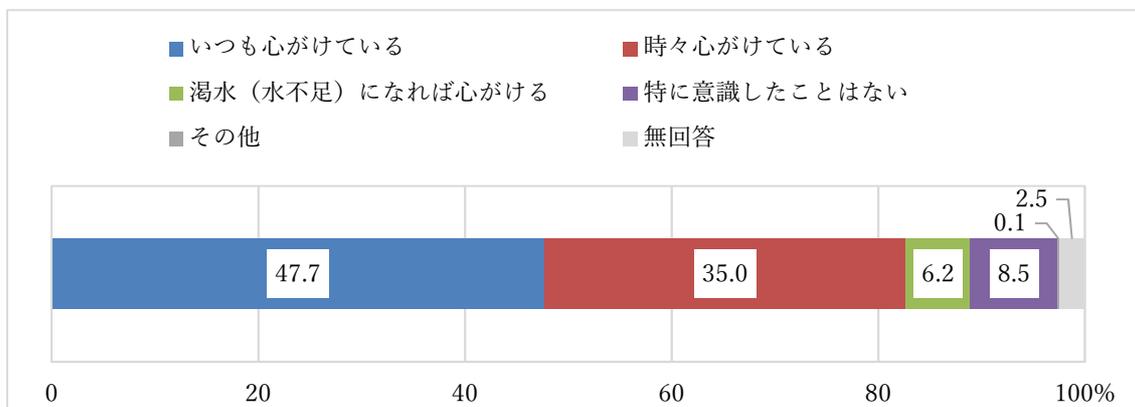
## 4 節水について

### 問8 節水の心がけ

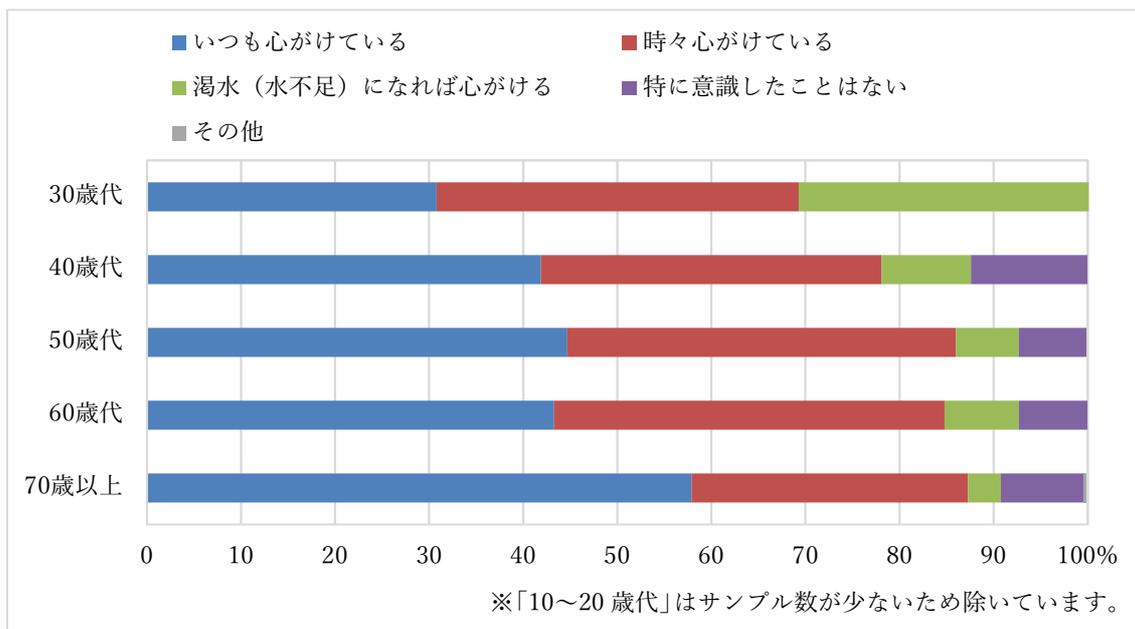
節水について「いつも心がけている」が47.7%と最も多く、「時々心がけている」(35.0%)と合わせると8割以上の方が日ごろから節水を心がけているという結果になりました。

年齢別にみると70歳以上で「いつも心がけている」と回答した方の割合が高くなっています。

●節水の心がけ（回答者数 915）



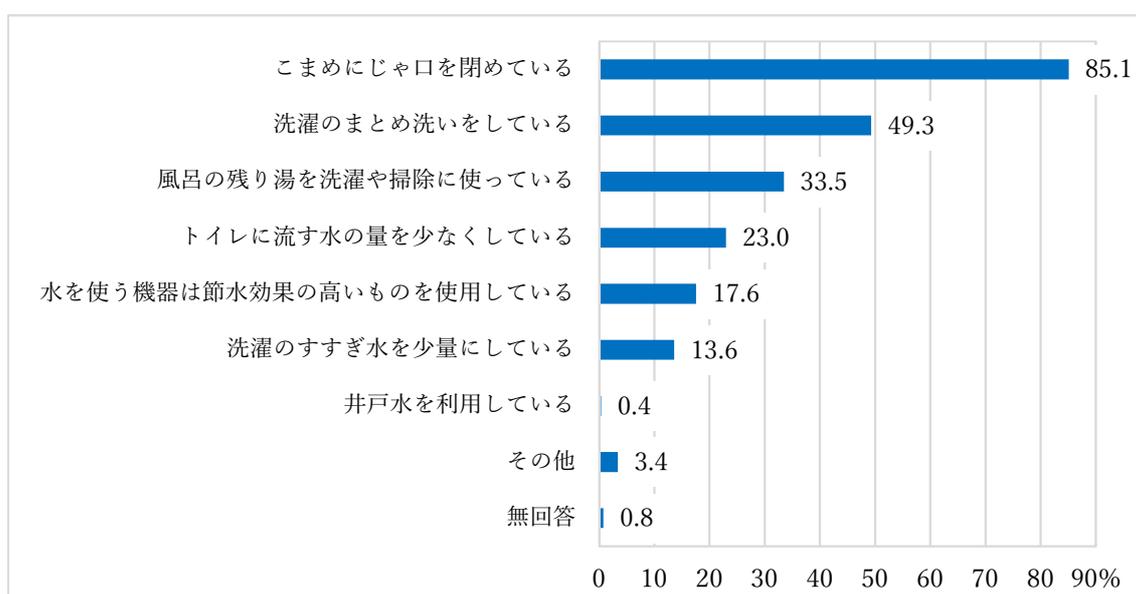
●節水の心がけ（年齢別）



### 問8-1 節水の方法（複数回答）

問8で節水を「いつも心がけている」、「時々心がけている」と回答した方の節水方法は、「こまめにじゃ口を閉めている」が85.1%と最も多く、次いで「洗濯のまとめ洗いをしている」(49.3%)、「風呂の残り湯を洗濯や掃除に使っている」(33.5%)となっています。その他として「雨水を庭の水やりに利用している」(7件)、「なるべくシャワーを使用しない」(4件)などの意見がありました。

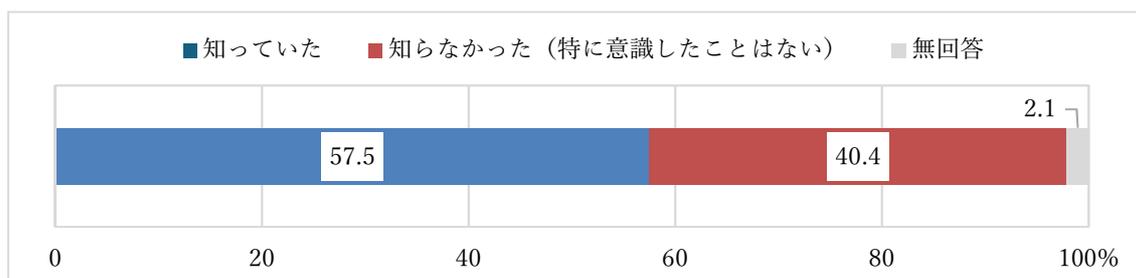
●節水の方法（回答者数 756）



### 問9 漏水の確認方法の認知

水道を使用していない状態で、水道メーターの中にあるパイロットが回っていたら宅地内のどこかで、水が漏れていることが確認できることについて、「知っていた」と回答した方の割合は57.5%でした。

●漏水の確認方法の認知（回答者数 915）



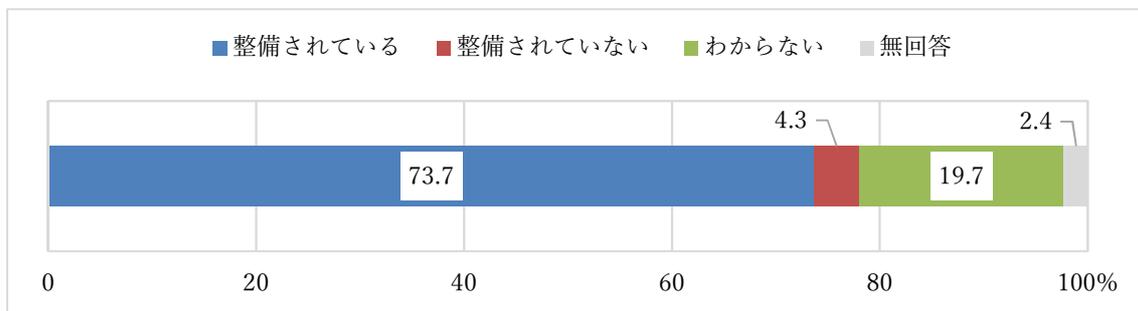
## 5 公共下水道について

### 問10 公共下水道の整備状況

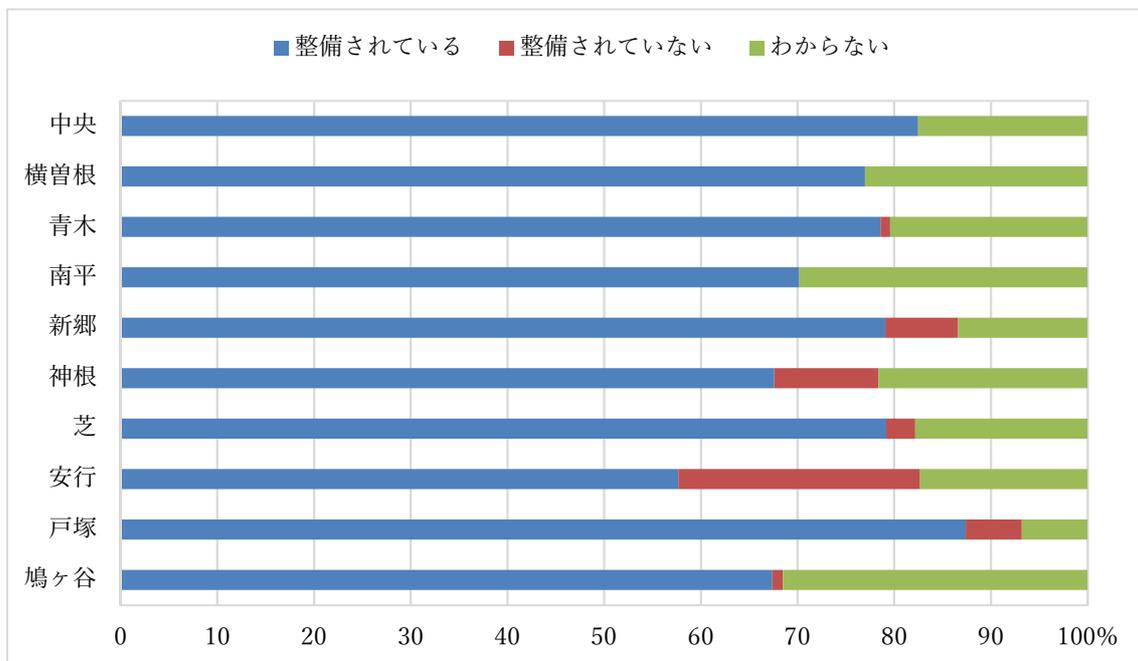
公共下水道について「整備されている」が73.7%、「整備されていない」が4.3%でした。

地域別にみると、中央と戸塚で「整備されている」と回答した方の割合が高く、安行で「整備されていない」と回答した方の割合が高くなっています。南平と鳩ヶ谷は、他の地域と比較して「わからない」と回答した方の割合が高くなっています。

● 公共下水道の整備状況（回答者数 915）



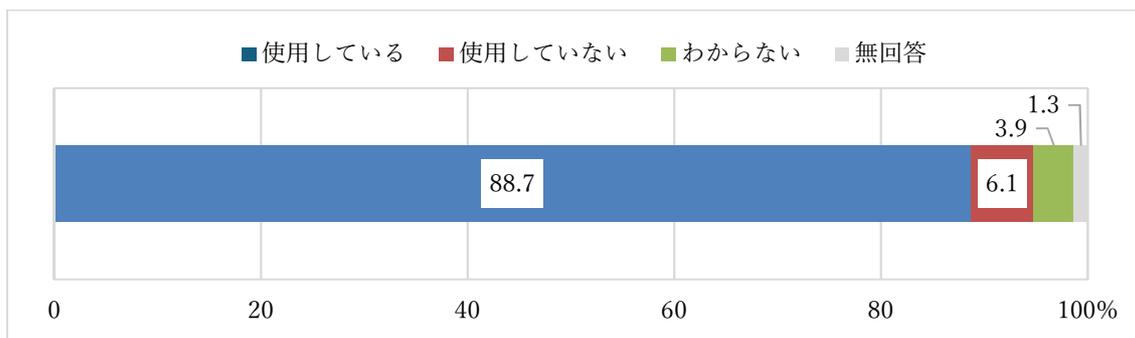
● 公共下水道の整備状況（地域別）



## 問10-1 下水道の使用状況

問10で公共下水道が「整備されている」と回答した方の中で、下水道を「使用している」と回答した方の割合は88.7%と9割近くの方が使用しています。

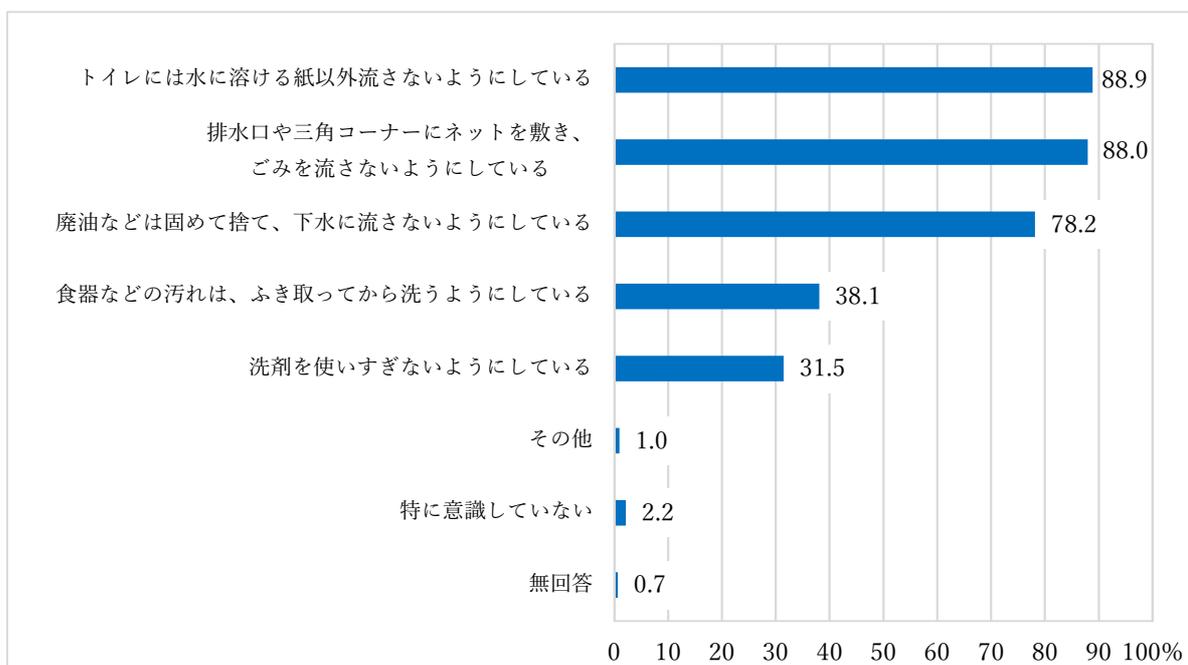
●下水道の使用状況（回答者数 674）



## 問10-2 下水道の使用で心がけていること（複数回答）

問10で公共下水道が「整備されている」と回答した方が、下水道の使用で心がけていることは、「トイレには水に溶ける紙以外流さないようにしている」が88.9%と最も多く、次いで「排水口や三角コーナーにネットを敷き、ごみを流さないようにしている」(88.0%)、「廃油などは固めて捨て、下水に流さないようにしている」(78.2%)となっています。

●下水道の使用で心がけていること（回答者数 674）

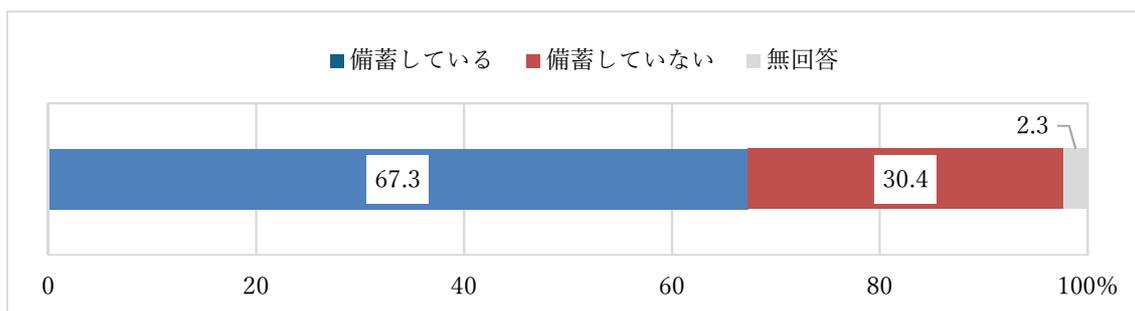


## 6 災害時・非常時について

### 問 1 1 災害時・非常時に備えた水の備蓄

災害時・非常時に備えて、水を「備蓄している」と回答した方の割合は 67.3%でした。

●災害時・非常時に備えた水の備蓄（回答者数 915）

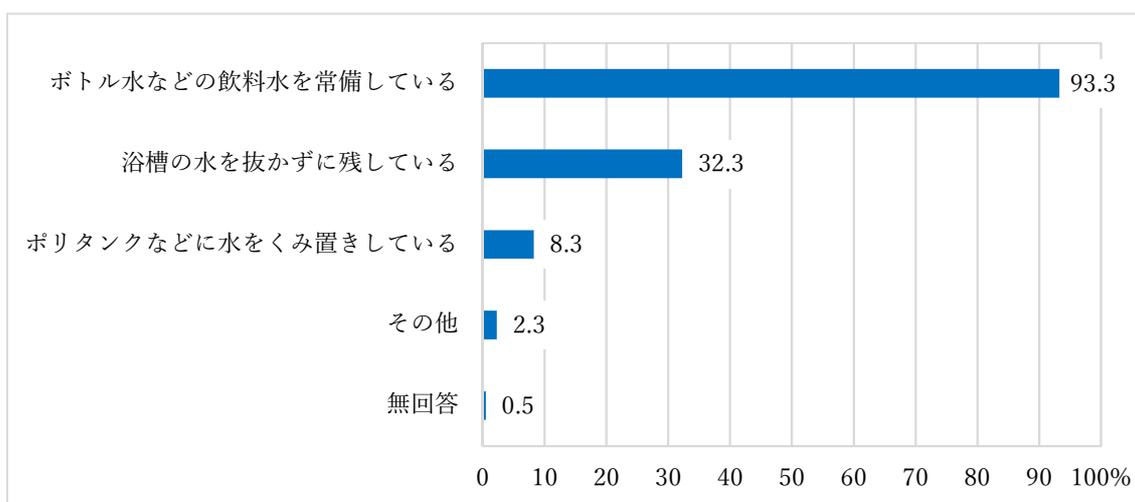


### 問 1 1 - 1 災害時・非常時に備えた水の備蓄方法（複数回答）

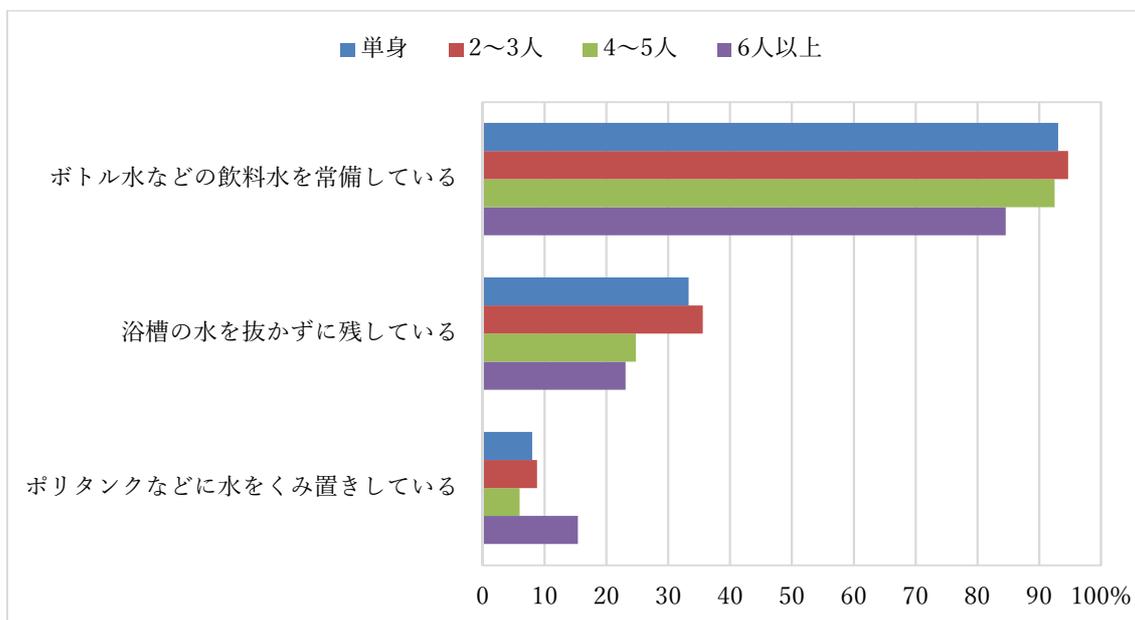
問 11 で災害時・非常時に備えて、水を「備蓄している」と回答した方の備蓄方法は、「ボトル水などの飲料水を常備している」が 93.3%と最も多くなっています。

世帯構成別にみると、6人以上の世帯が他の世帯構成と比較して「ポリタンクなどに水をくみ置きしている」と回答した方の割合が高くなっています。（次頁図）

●災害時・非常時に備えた水の備蓄方法（回答者数 616）



●災害時・非常時に備えた水の備蓄方法（世帯構成別）

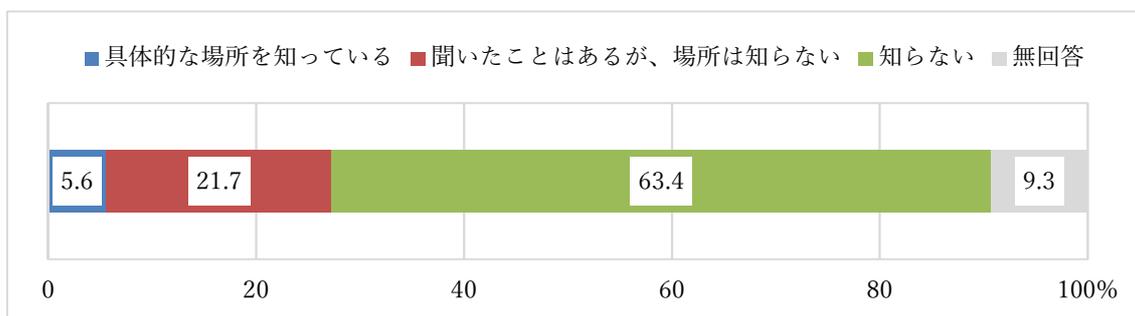


## 問 1 2 a 指定給水所の認知

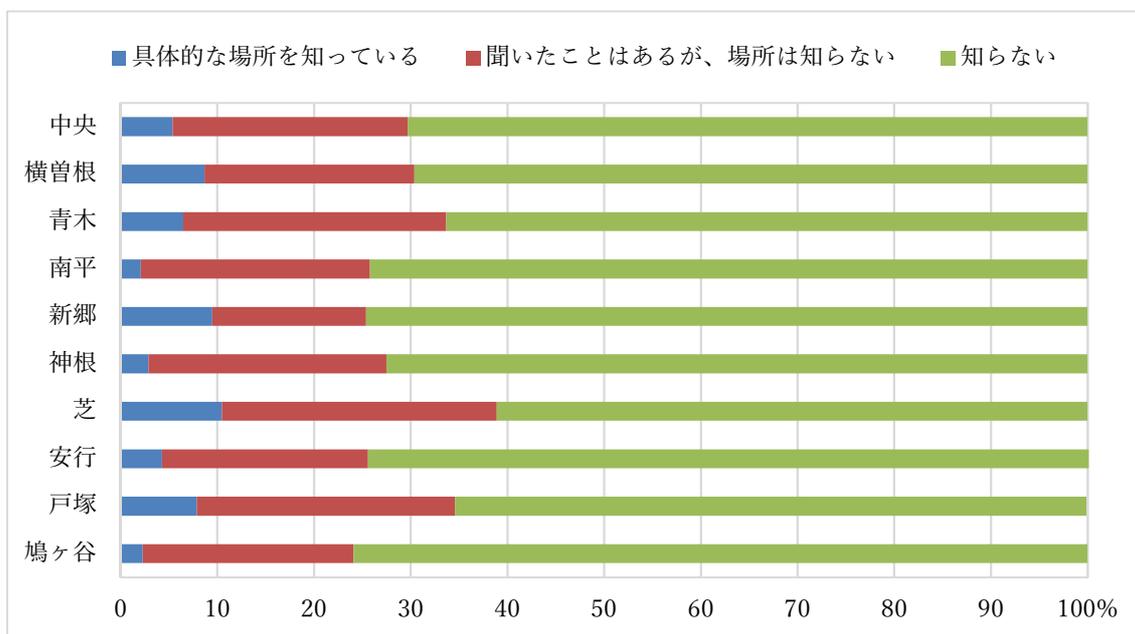
災害時に水を配るための指定給水所については、「知らない」が63.4%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、場所は知らない」(21.7%)となっています。「具体的な場所を知っている」は5.6%と少ない結果になりました。

地域別にみると、横曽根、新郷、芝で「具体的な場所を知っている」と回答した方の割合が高くなっています。

●指定給水所の認知（回答者数 915）



●指定給水所の認知（地域別）



## 問 1 2 b 災害用マンホールトイレの認知

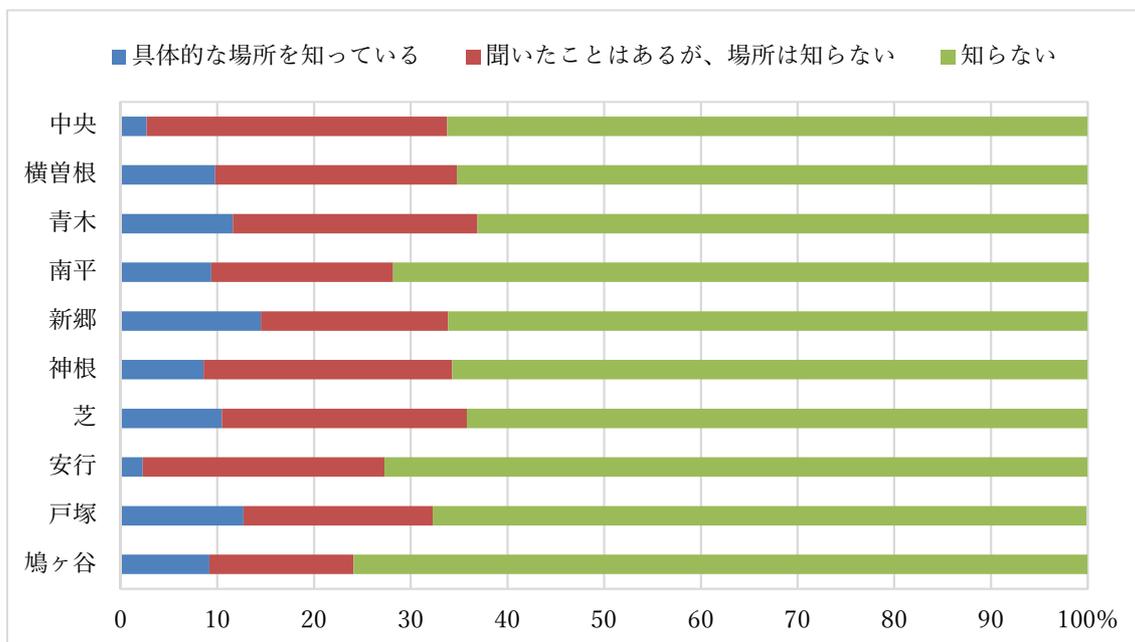
災害用マンホールトイレの設置場所について、「具体的な場所を知っている」は 8.7%と少なく、「聞いたことはあるが、場所は知らない」は 20.5%でした。問 12a の指定給水所と比較すると「具体的な場所を知っている」と回答した方の割合が高い結果になりました。

地域別にみると、青木と新郷と戸塚で「具体的な場所を知っている」と回答した方の割合が高くなっています。

●災害用マンホールトイレの認知（回答者数 915）



●災害用マンホールトイレの認知（地域別）

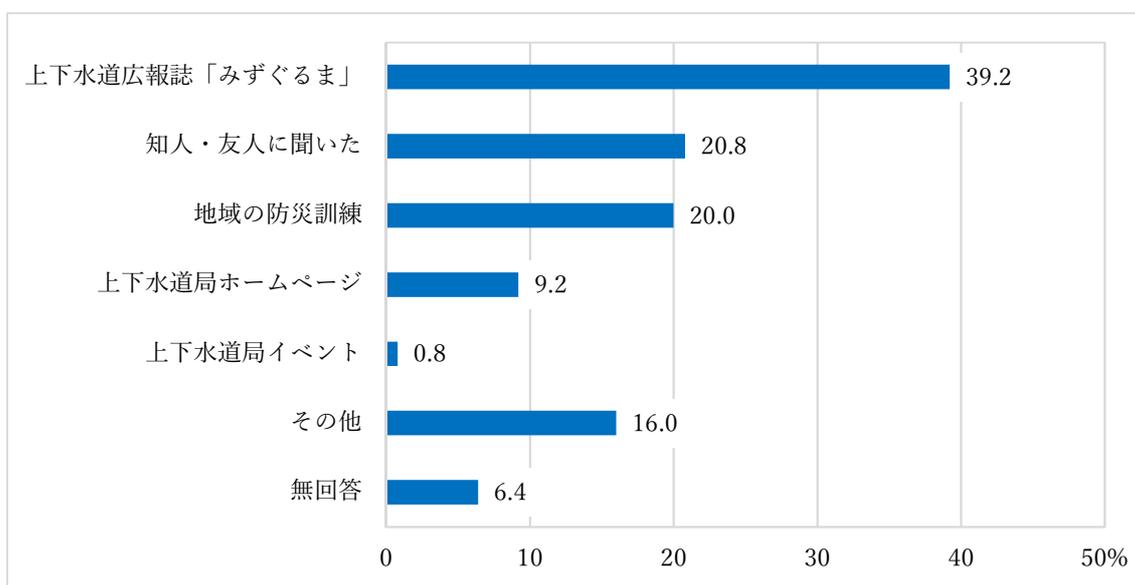


## 問 1 2 - 1 指定給水所を知った手段（複数回答）

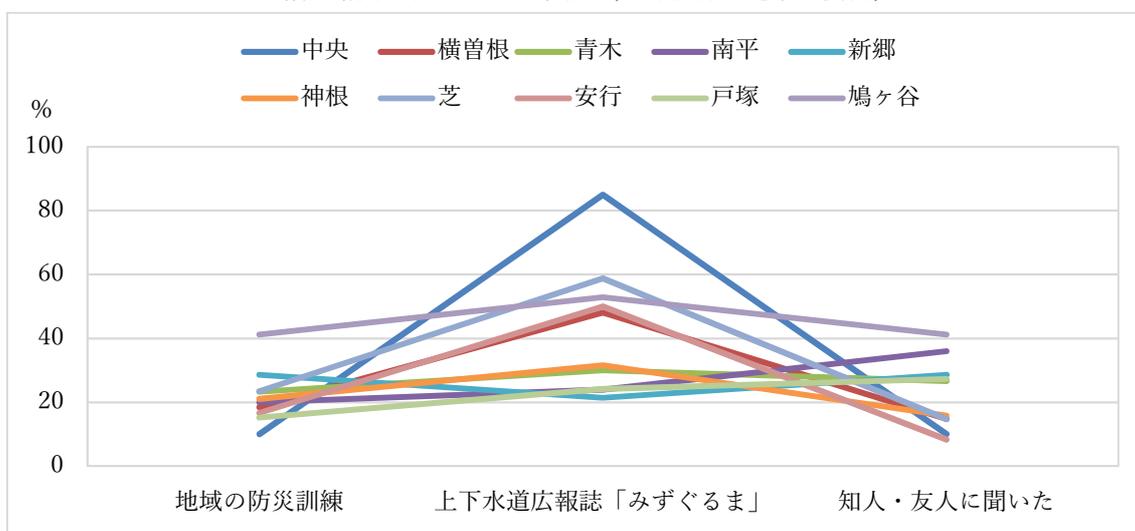
問 12a で指定給水所について、「具体的な場所を知っている」、「聞いたことはあるが、場所は知らない」と回答した方の認知経路については、「上下水道広報誌「みずぐるま」」が 39.2%と最も多くなっています。その他として、テレビ等を通じて給水所自体については認知しているという意見が多く見られました。

地域別にみると、特に中央で「上下水道広報誌「みずぐるま」」で知ったと回答した方の割合が高くなっています。

●指定給水所を知った手段（回答者数 250）



●指定給水所を知った手段（地域別、主要 3 項目）

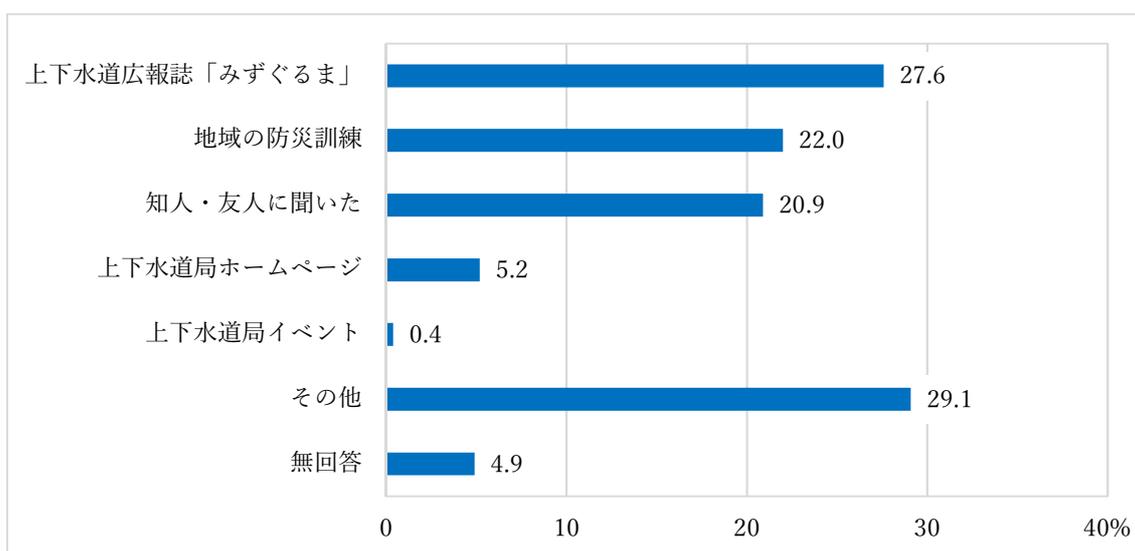


## 問 1 2 - 2 災害用マンホールトイレを知った手段（複数回答）

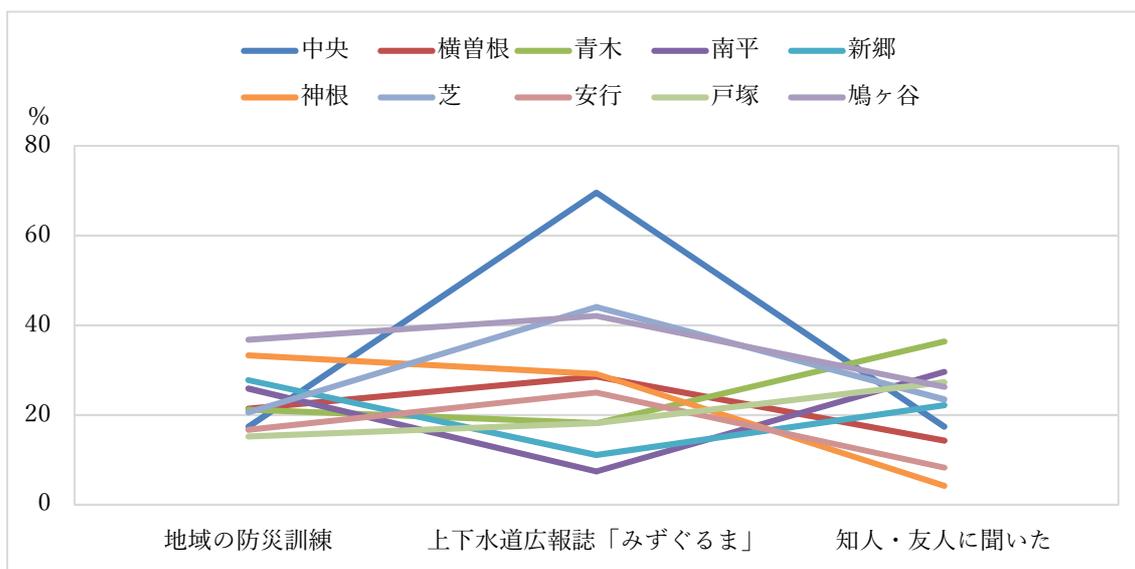
問 12b で災害用マンホールトイレについて、「具体的な場所を知っている」、「聞いたことはあるが、場所は知らない」と回答した方の認知経路については、「上下水道広報誌「みずぐるま」」が 27.6% と最も多くなっています。その他として「散歩中などに見かけたことがある」(31 件)、「テレビで知った」(21 件) などの意見がありました。

地域別にみると、特に中央で「上下水道広報誌「みずぐるま」」で知ったと回答した方の割合が高くなっています。

● 災害用マンホールトイレを知った手段（回答者数 268）



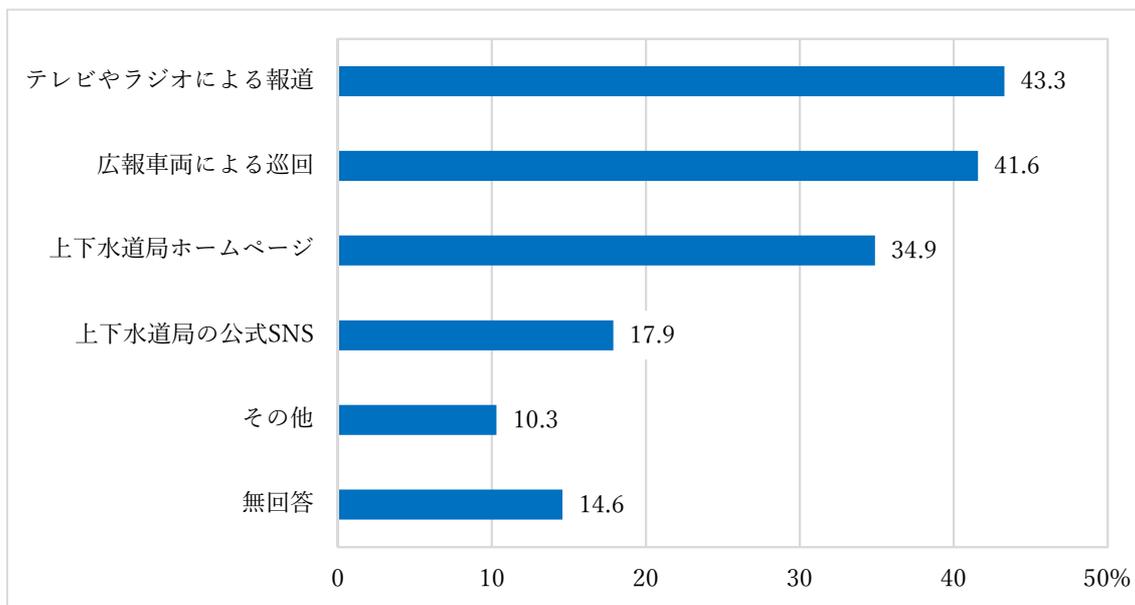
● 災害用マンホールトイレを知った手段（地域別、主要 3 項目）



### 問 1 3 災害時・非常時の情報収集手段（複数回答）

災害時・非常時に指定給水所や災害用マンホールトイレに関する情報を得るために利用したい手段として、「テレビやラジオによる報道」が43.3%と最も多く、次いで「広報車両による巡回」（41.6%）、「上下水道局ホームページ」（34.9%）となっています。

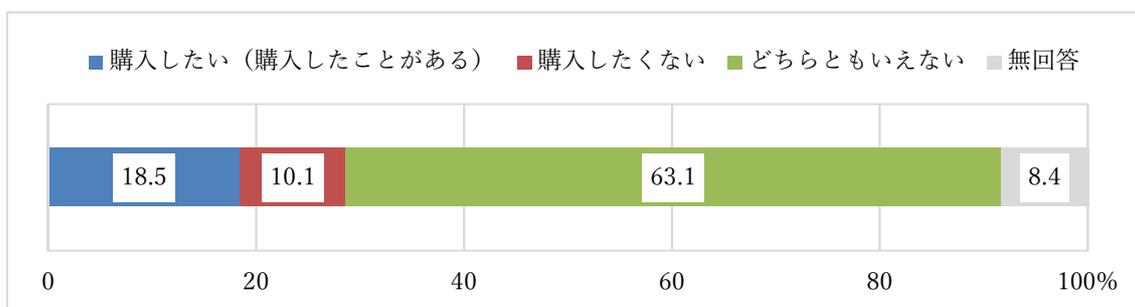
●災害時・非常時の情報収集手段（回答者数 915）



### 問 1 4 災害用備蓄ボトル水の購入意向

上下水道局が販売する災害用備蓄ボトル水「川口みず太郎」の購入意向は、「購入したい」が18.5%で「購入したくない」を上回っています。

●災害用備蓄ボトル水の購入意向（回答者数 915）

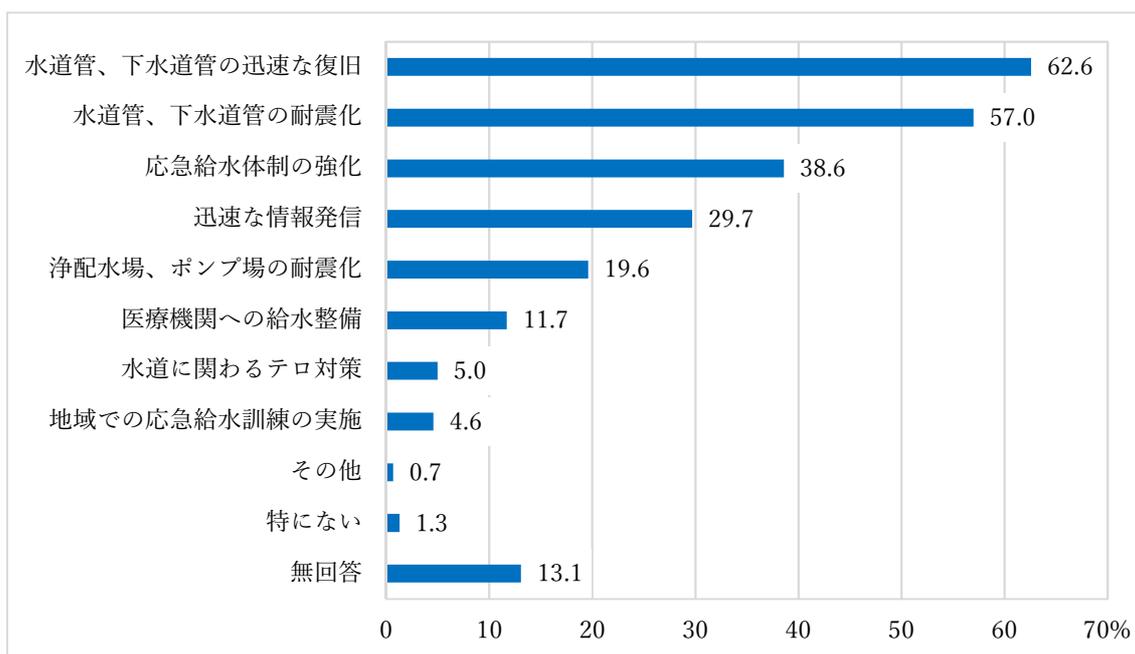


### 問 1 5 災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと（3つまで）

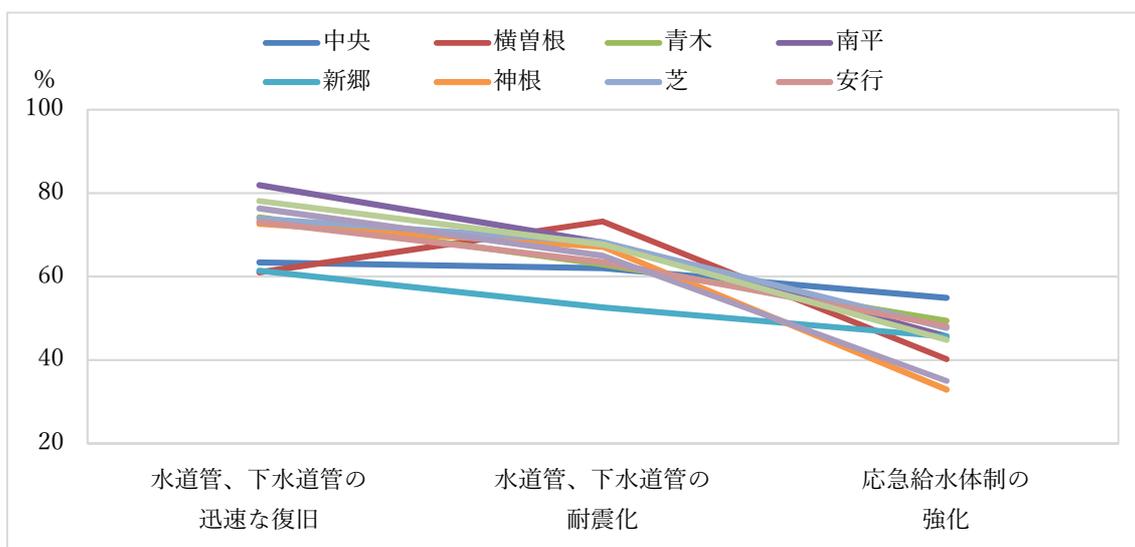
災害時・非常時の対策として上下水道局に望むことは、「水道管、下水道管の迅速な復旧」が62.6%と最も多く、次いで「水道管、下水道管の耐震化」（57.0%）、「応急給水体制の強化」（38.6%）となっています。

地域別にみると、横曽根では「水道管、下水道管の耐震化」が第1に望まれています。

#### ●災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと（回答者数 915）



#### ●災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと（地域別、主要3項目）

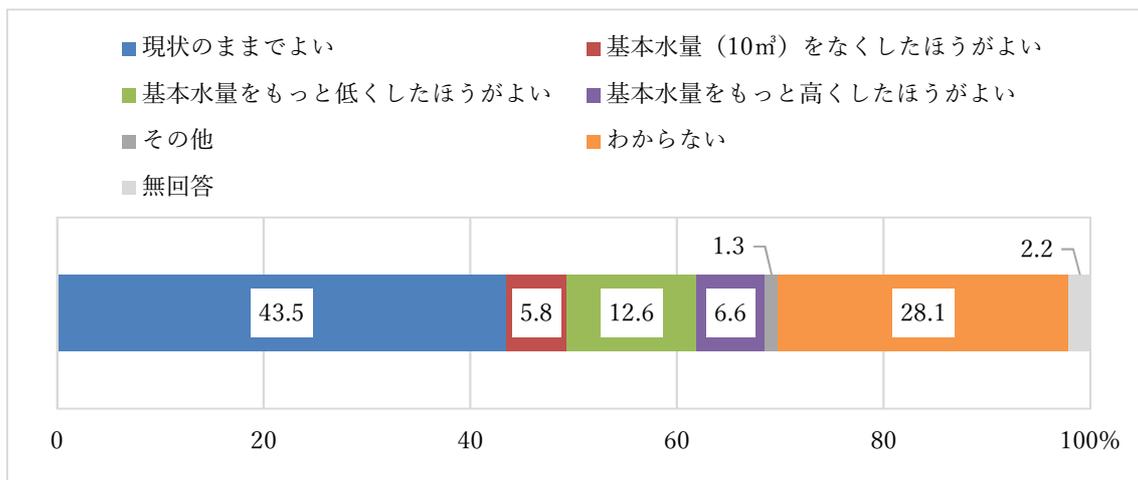


## 7 水道料金・下水道使用料について

### 問16 料金制度（基本料金）への見解

基本料金の仕組みについて、「現状のままでよい」が43.5%と最も多く、次いで「わからない」(28.1%)、「基本水量をもっと低くしたほうがよい」(12.6%)となっています。

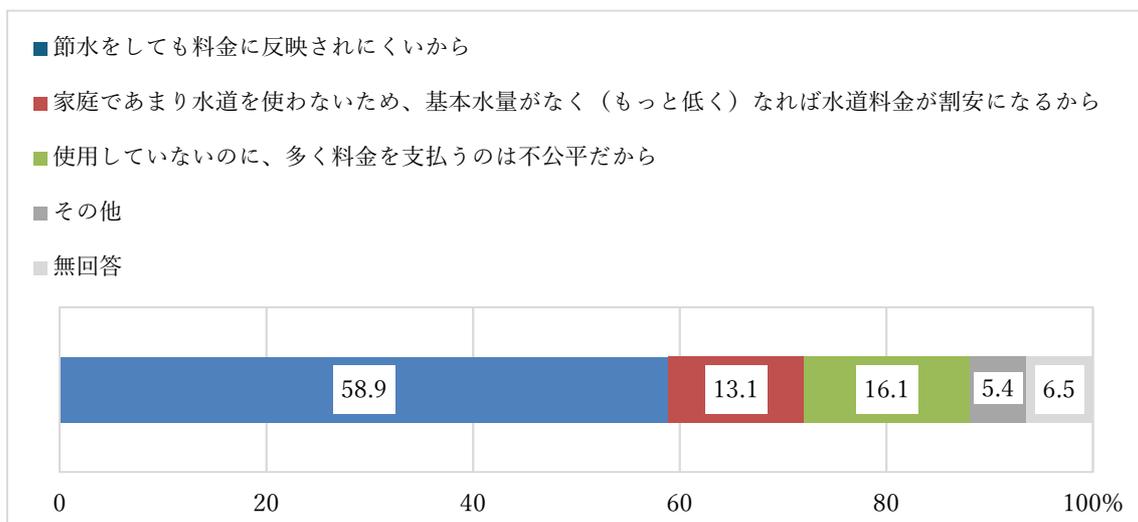
●料金制度（基本料金）への見解（回答者数 915）



### 問16-1 基本水量をなくす、もっと低くすると回答した理由

問16で基本水量を「なくしたほうがよい」、「もっと低くしたほうがよい」と回答した方の理由は、「節水をしていても料金に反映されにくいから」が58.9%と最も多くなっています。

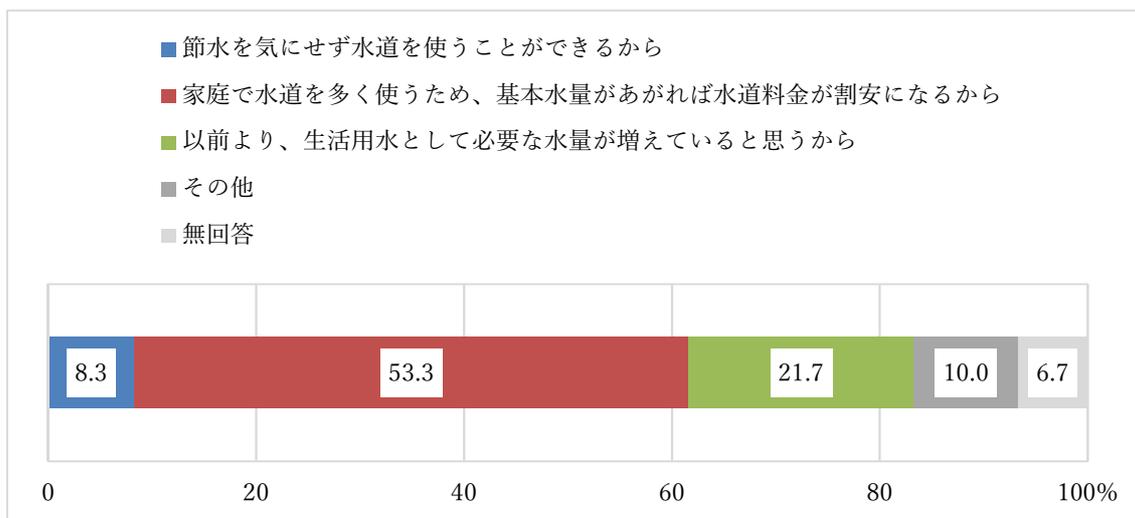
●基本水量をなくす、もっと低くすると回答した理由（回答者数 168）



## 問16-2 基本水量をもっと高くすると回答した理由

問16で基本水量を「もっと高くしたほうがよい」と回答した方の理由は、「家庭で水道を多く使うため、基本水量があがれば水道料金が割安になるから」が53.3%と最も多くなっています。

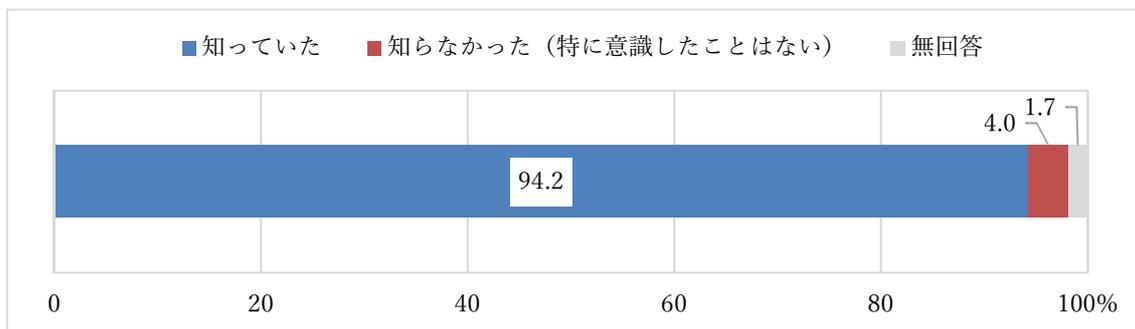
### ●基本水量をもっと高くすると回答した理由（回答者数60）



## 問17 水道料金と下水道使用料を2ヶ月分まとめて支払っていることの認知

水道料金と下水道使用料を2ヶ月分まとめて支払っていることを「知っていた」と回答した方の割合は94.2%と、9割以上の方が知っているという結果になりました。

### ●水道料金と下水道使用料を2ヶ月分まとめて支払っていることの認知（回答者数915）

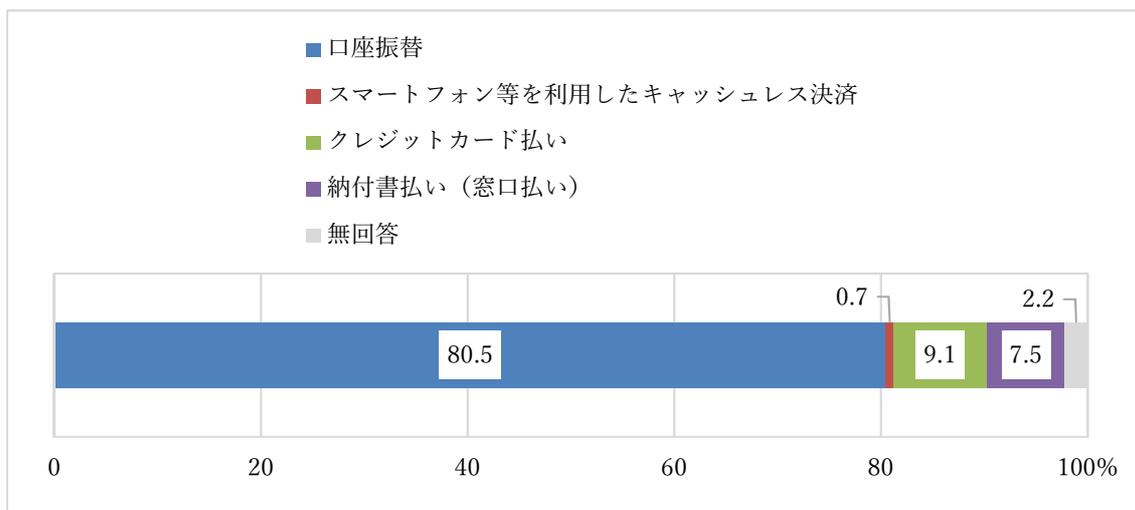


## 問 1 8 現在の水道料金・下水道使用料の支払い方法

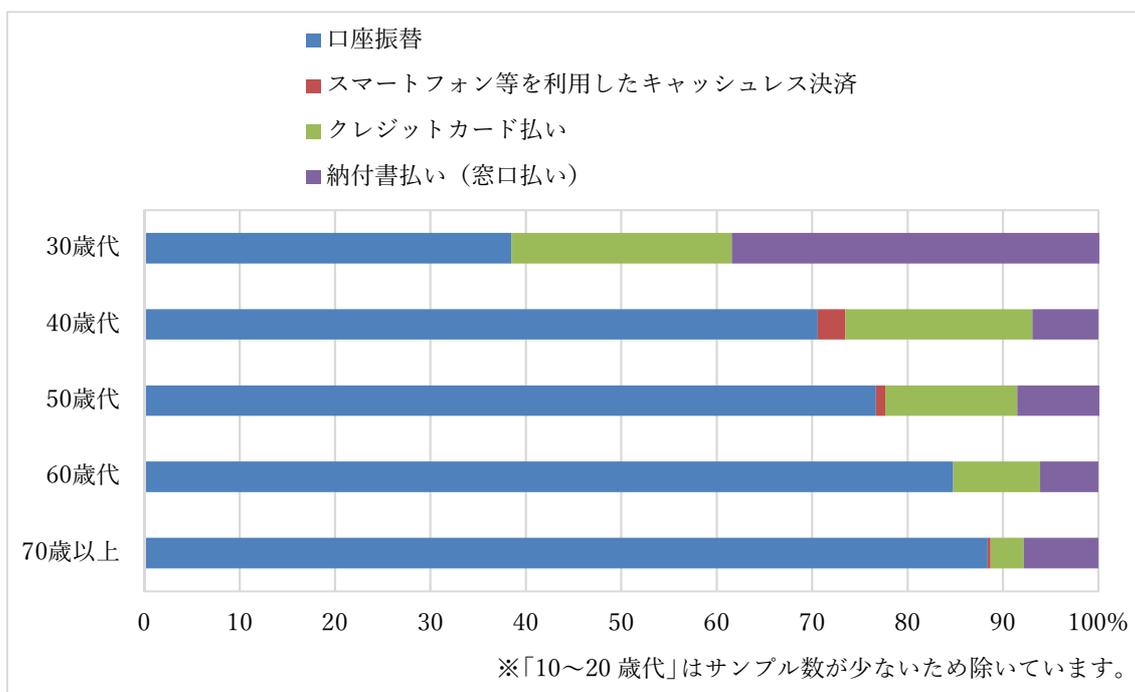
現在の水道料金・下水道使用料の支払い方法は「口座振替」が 80.5%と最も多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「口座振替」と回答した方の割合が増え、「クレジットカード払い」と回答した方の割合が減る傾向がみられます。

### ●現在の水道料金・下水道使用料の支払い方法（回答者数 915）



### ●現在の水道料金・下水道使用料の支払い方法（年齢別）

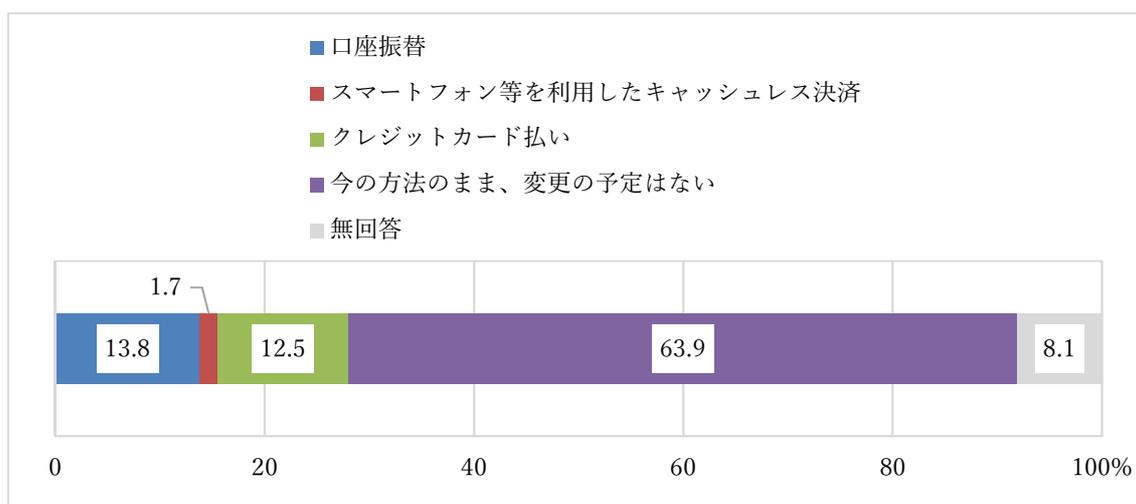


## 問 1 9 今後希望する水道料金・下水道使用料の支払い方法

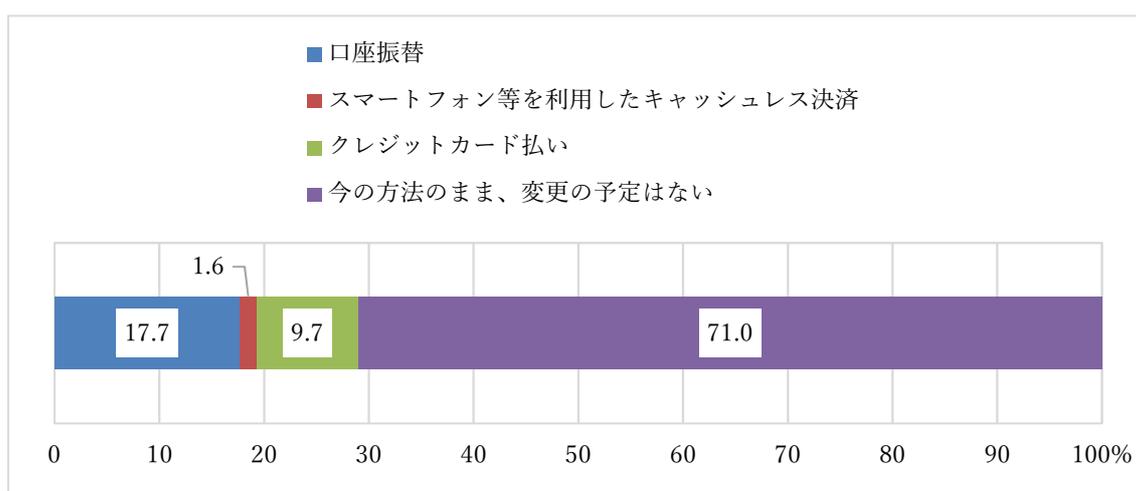
今後の水道料金・下水道使用料の支払い方法は、「今の方法のまま、変更の予定はない」が63.9%と最も多くなっています。

現在の支払い方法が納付書払い（窓口払い）の方の希望する支払い方法は、「今の方法のまま、変更の予定はない」（71.0%）が最も多く、次いで「口座振替」（17.7%）となっています。

### ●今後希望する水道料金・下水道使用料の支払い方法（回答者数 915）



### ●今後希望する水道料金・下水道使用料の支払い方法 （現在の支払い方法：納付書払い（窓口払い））（回答者数 62）

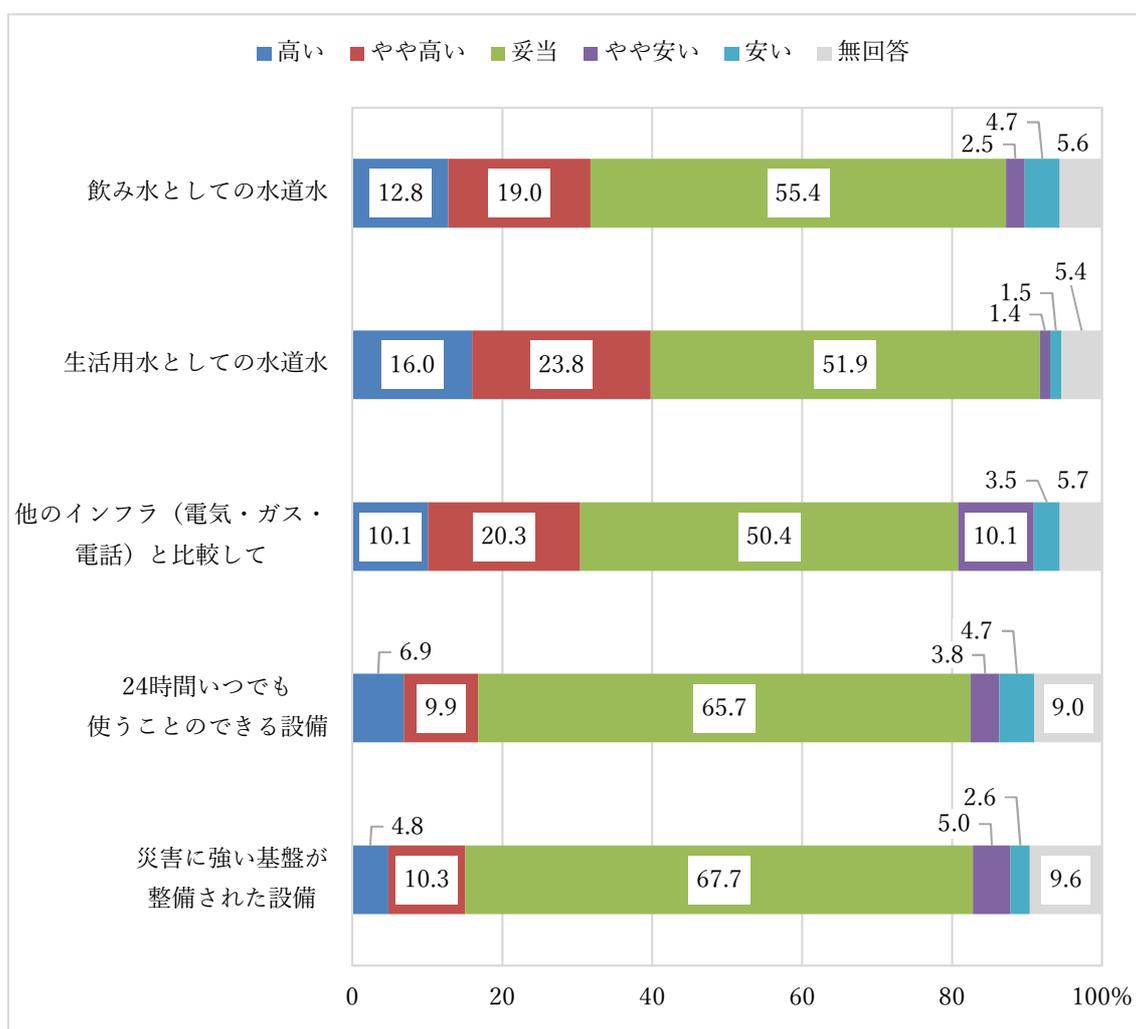


## 問20 水道料金のイメージ（それぞれ1つ）

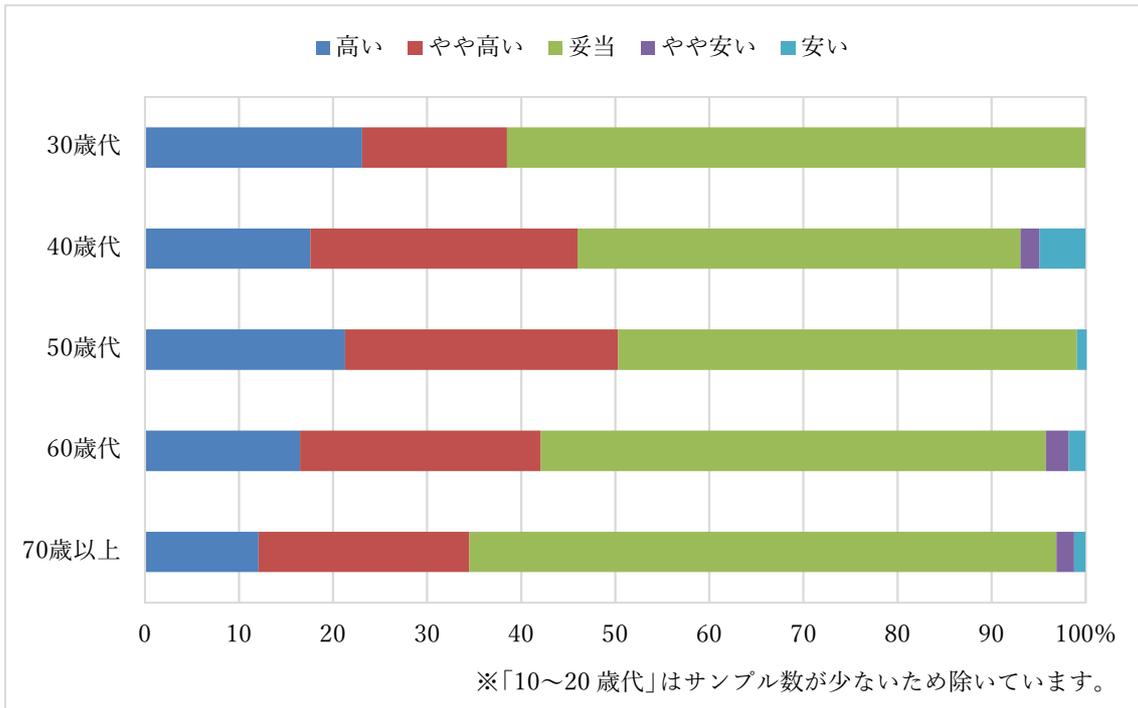
水道料金のイメージは、どの項目でも「妥当」と回答した方の割合が最も高くなっています。特に、24時間いつでも使うことのできる設備と災害に強い基盤が整備された設備で「妥当」と回答した方の割合は6割を超えています。

生活用水としての水道水が高いと感じている（「高い」＋「やや高い」）方の割合は39.8%と、他の項目と比較して高く、年齢別では、50歳代で高いと感じている方の割合が50%を超えており、30歳代では「安い」、「やや安い」という回答がありませんでした。

●水道料金のイメージ（回答者数915）



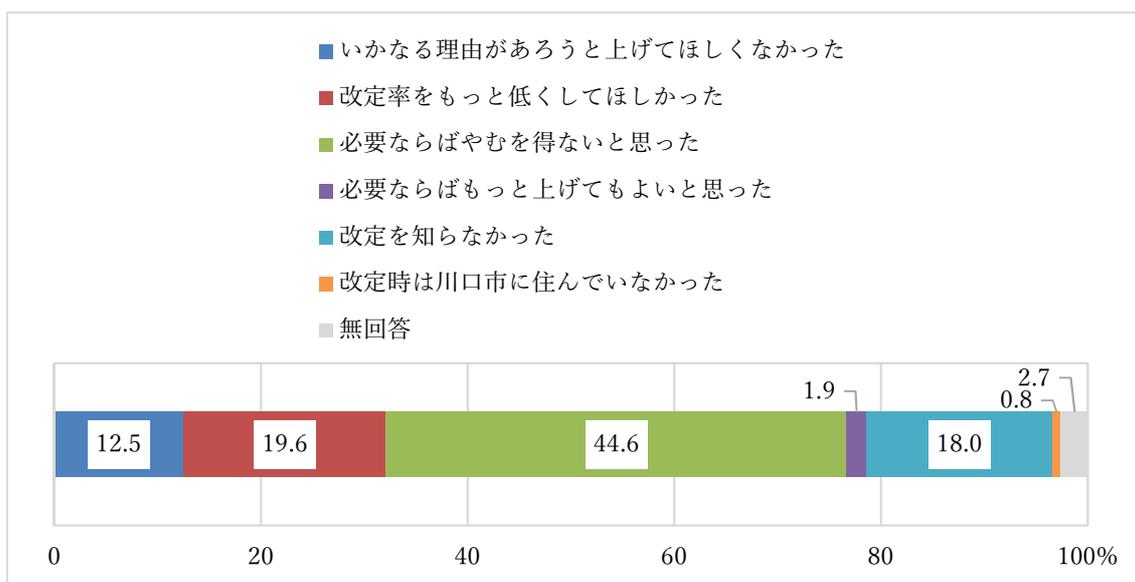
●生活用水としての水道水（年齢別）



## 問 2 1 令和 3 年 1 月の水道料金改定で感じたこと

令和 3 年 1 月におよそ 20 年振りに水道料金を 25.01% 改定したことについて当時感じたことは、「必要ならばやむを得ないと思った」が 44.6% で最も多く、次いで「改定率をもっと低くしてほしかった」(19.6%)、「改定を知らなかった」(18.0%) となっています。

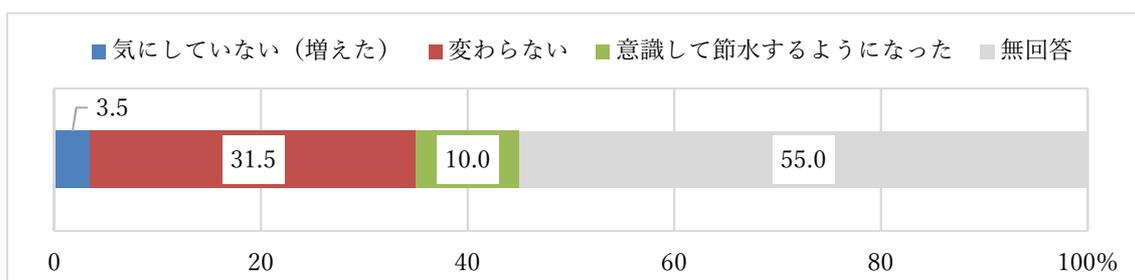
### ● 令和 3 年 1 月の水道料金改定で感じたこと (回答者数 915)



## 問 2 1 - 1 料金改定後の水の使用量

問 21 で「いかなる理由があろうと上げてほしくなかった」、「改定率をもっと低くしてほしかった」、「必要ならばやむを得ないと思った」、「必要ならばもっと上げてよかった」と回答した方の、料金改定後の水の使用量は「変わらない」が 31.5% と最も多くなっています。

### ● 料金改定後の水の使用量 (回答者数 718)

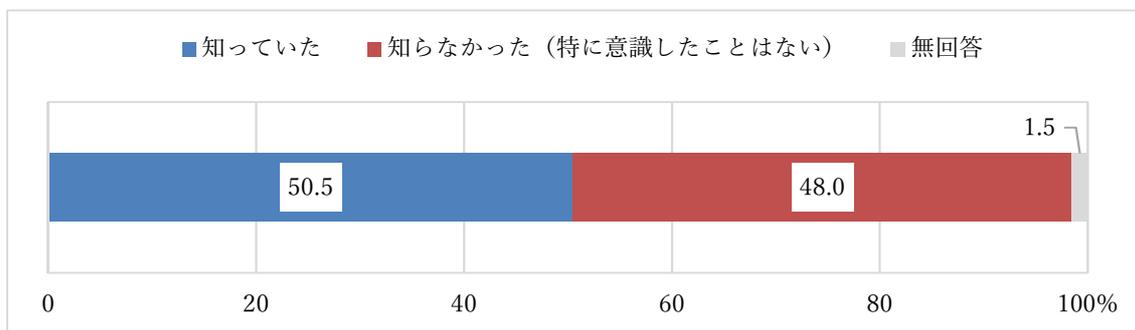


## 8 上下水道事業について

### 問2 2 水道事業が独立採算制であることの認知

水道事業は税金ではなく、水道料金を主な財源として運営されていること（独立採算制であること）を「知っていた」と回答した方の割合は50.5%、「知らなかった（特に意識したことはない）」と回答した方の割合は48.0%と、ほぼ半々の結果になりました。

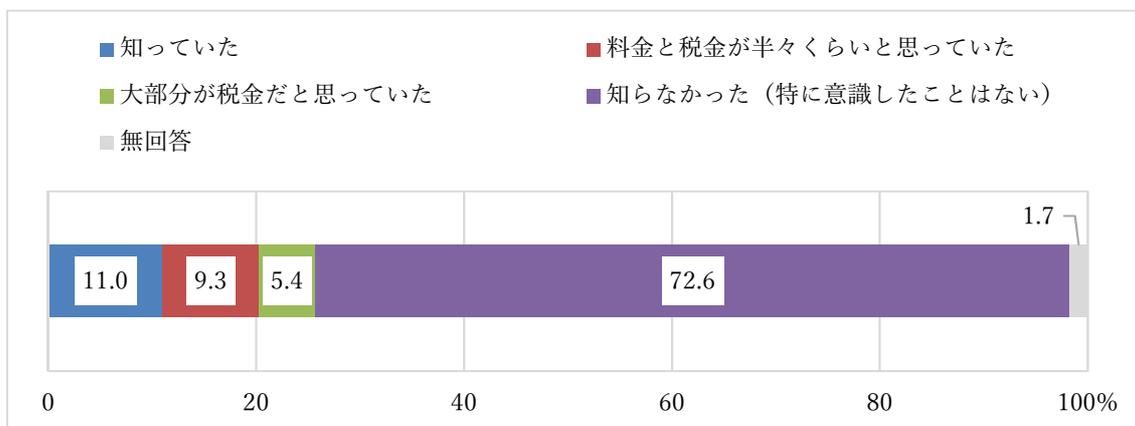
#### ●水道事業が独立採算制であることの認知（回答者数 915）



### 問2 3 下水道使用料の不足分を公費でまかなっていることの認知

下水道事業のうち、雨水処理の経費は公費（税金）でまかない、汚水処理の経費は排出した汚水の量に応じて下水道使用料でまかなうという原則がありますが、下水道使用料で足りない分を公費（税金）でまかなっていることについて、「知らなかった（特に意識したことはない）」と回答した方の割合が72.6%と最も高くなっています。

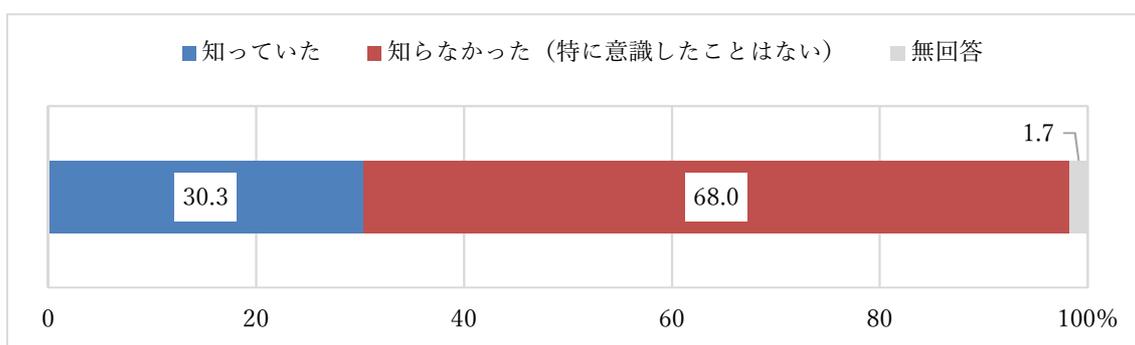
#### ●下水道使用料の不足分を公費でまかなっていることの認知（回答者数 915）



## 問 2 4 水道・下水道施設の老朽化状況の認知

水道や下水道の施設は老朽化が進んでおり、市内では令和 4 年度末時点で、布設から 4、50 年を経過し、法定耐用年数を超えた水道管が全体の 25.2%、下水道管が 20.0%にもなります。これだけの施設が老朽化していることについて、「知っていた」と回答した方の割合は 30.3%、「知らなかった（特に意識したことはない）」と回答した方の割合は 68.0%と、知らなかった（特に意識したことはない）方の方が多い結果になりました。

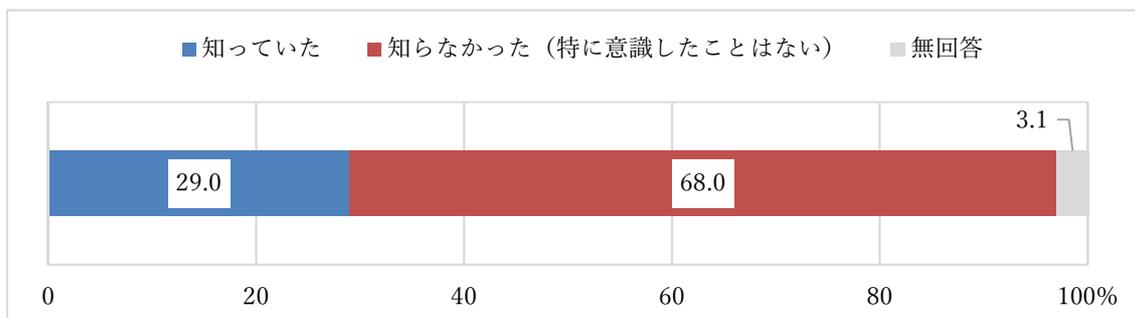
●水道・下水道施設の老朽化状況の認知（回答者数 915）



## 問 2 5 計画に基づき更新工事を進めていることの認知

上下水道局では、施設更新基本計画や下水道ストックマネジメント計画を策定し、老朽化した施設の中でも損傷の激しい施設から重点的に更新を行うなど計画的・効率的な改善に努めています。施設の更新には莫大な費用がかかるため、このような計画に基づき更新工事を進めていることについて、「知っていた」と回答した方の割合は 29.0%、「知らなかった（特に意識したことはない）」と回答した方の割合は 68.0%と、知らなかった（特に意識したことはない）方の方が多い結果になりました。

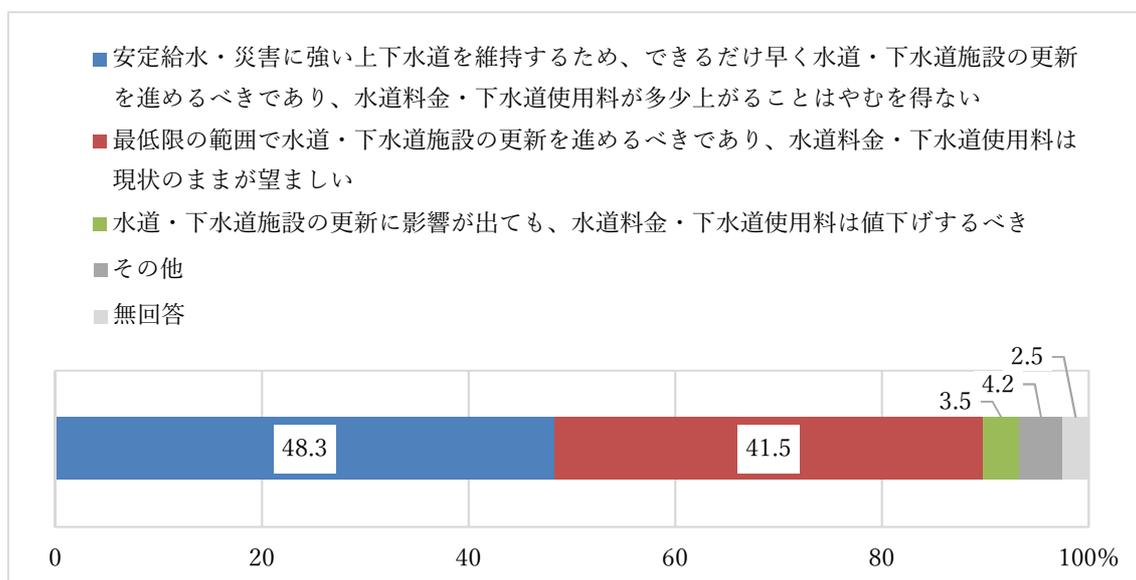
●計画に基づき更新工事を進めていることの認知（回答者数 915）



## 問 2 6 水道・下水道施設の更新と水道料金・下水道使用料への見解

上下水道局では、経営の合理化や効率化を図るなどの経営努力を行っていますが、水道管や浄配水場などの水道施設のほか、下水道の管きょやポンプ場の老朽化が進行しその更新費用は年々増加していきます。水道・下水道施設の更新と水道料金・下水道使用料についての考えとして、「安定給水・災害に強い上下水道を維持するため、できるだけ早く水道・下水道施設の更新を進めるべきであり、水道料金・下水道使用料が多少上がることはやむを得ない」が48.3%と最も多く、次いで「最低限の範囲で水道・下水道施設の更新を進めるべきであり、水道料金・下水道使用料は現状のままが望ましい」(41.5%)となっています。

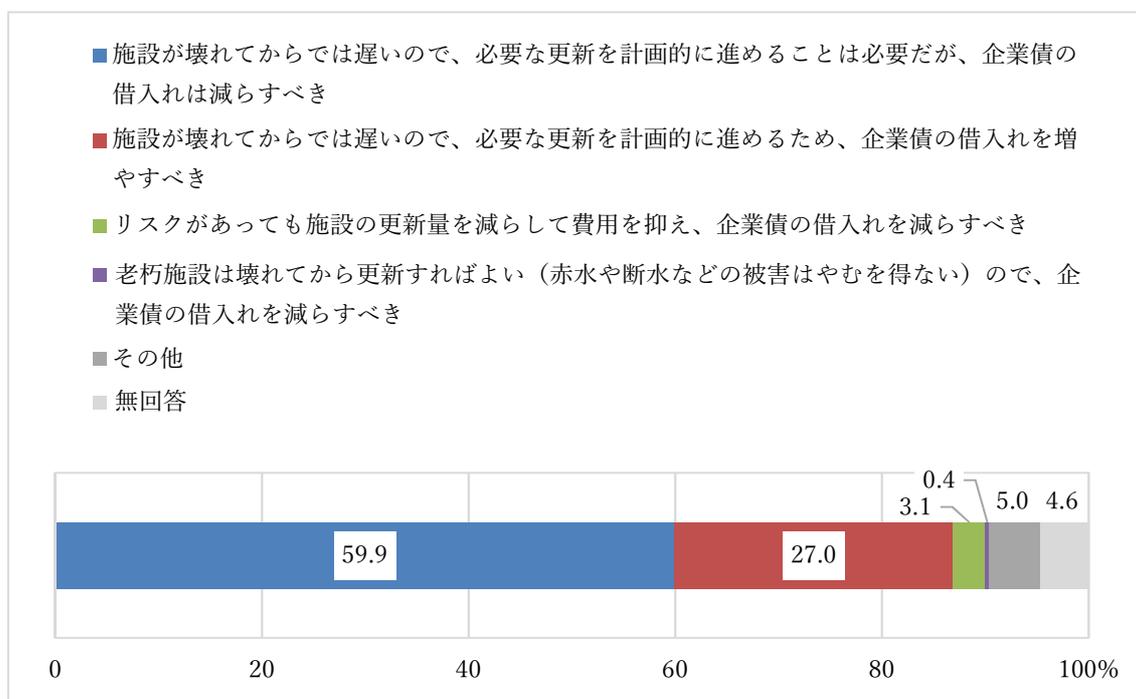
### ●水道・下水道施設の更新と水道料金・下水道使用料への見解（回答者数 915）



## 問 2 7 水道・下水道施設更新に必要な財源の確保への見解

水道・下水道施設更新の主な財源には、水道料金・下水道使用料のほか、企業債（借金）があります。現在、上下水道局では、将来の世代の負担を少しでも減らすため、新規企業債の借入額は返済額を上限としています。その結果、企業債の残高は徐々に減少していますが、更新費用が増加する近年では、その財源不足が大きな課題となっています。財源の確保についての考えとして、「施設が壊れてからでは遅いので、必要な更新を計画的に進めることは必要だが、企業債の借入れは減らすべき」が59.9%と最も多く、次いで「施設が壊れてからでは遅いので、必要な更新を計画的に進めるため、企業債の借入れを増やすべき」(27.0%)となっています。

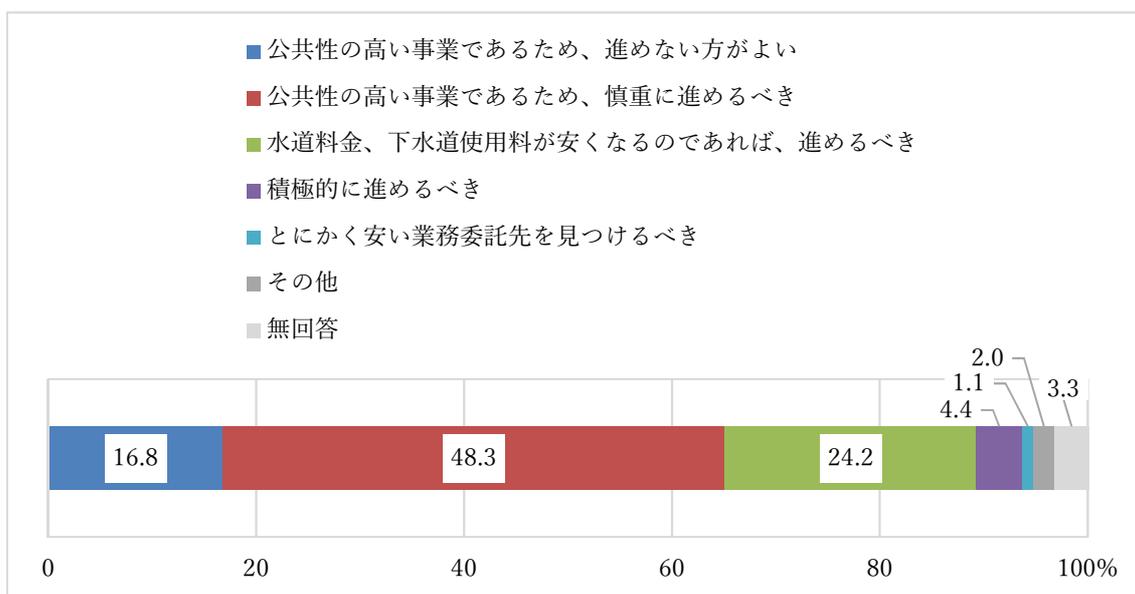
### ●水道・下水道施設更新に必要な財源の確保への見解（回答者数 915）



## 問 2 8 民間の活力を利用した経営効率化への見解

上下水道事業について、可能なものは民間に委託したり、施設を管理させたりするなど、民間の活力を利用して経営の効率化を進める動きについては、「公共性の高い事業であるため、慎重に進めるべき」が48.3%と最も多く、次いで「水道料金、下水道使用料が安くなるのであれば、進めるべき」(24.2%)となっています。

### ●民間の活力を利用した経営効率化への見解（回答者数 915）

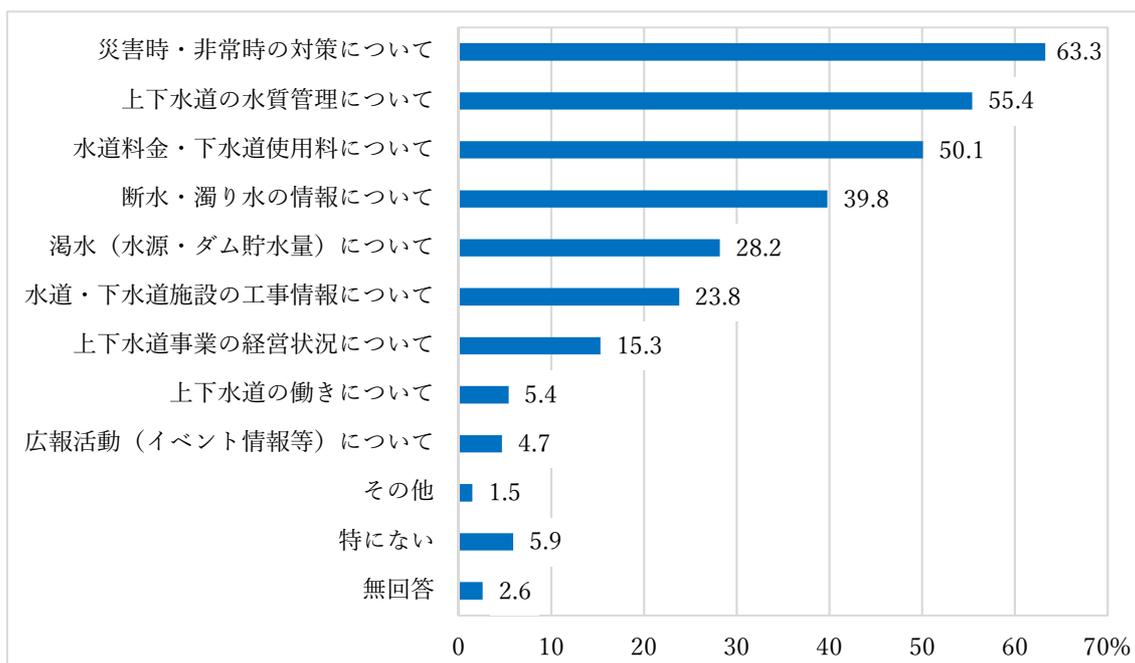


## 問29 上下水道事業における関心事項（複数回答）

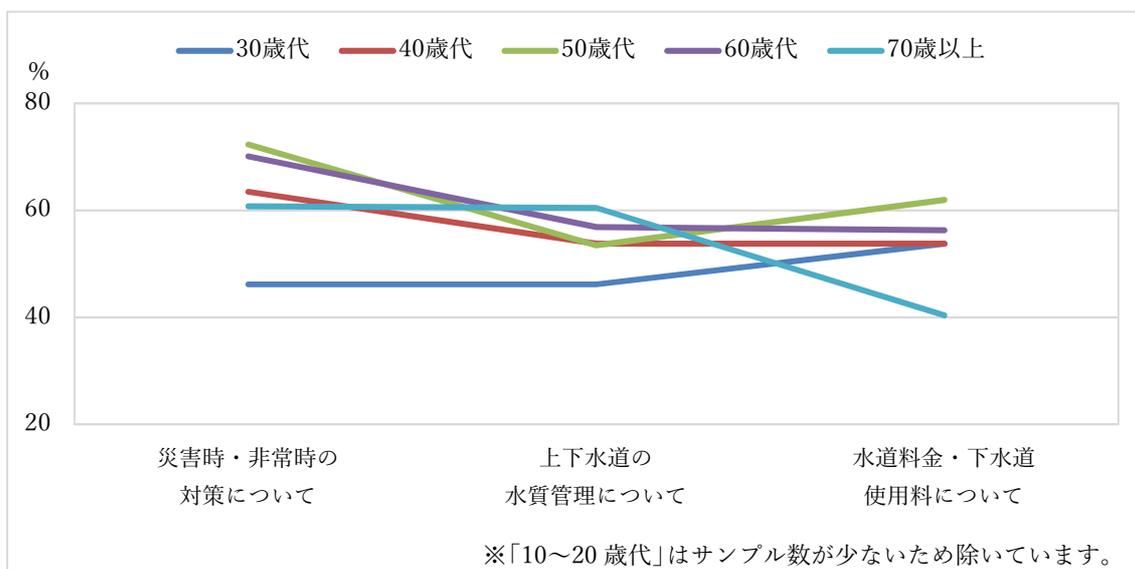
上下水道事業について関心のあることは、「災害時・非常時の対策について」が63.3%と最も多く、次いで「上下水道の水質管理について」（55.4%）となっています。

年齢別にみると、70歳以上は「上下水道の水質管理について」は関心がやや高い一方で、「水道料金・下水道使用料について」は関心が低い傾向がみられます。

●上下水道事業における関心事項（回答者数 915）



●上下水道事業における関心事項（年齢別、主要3項目）



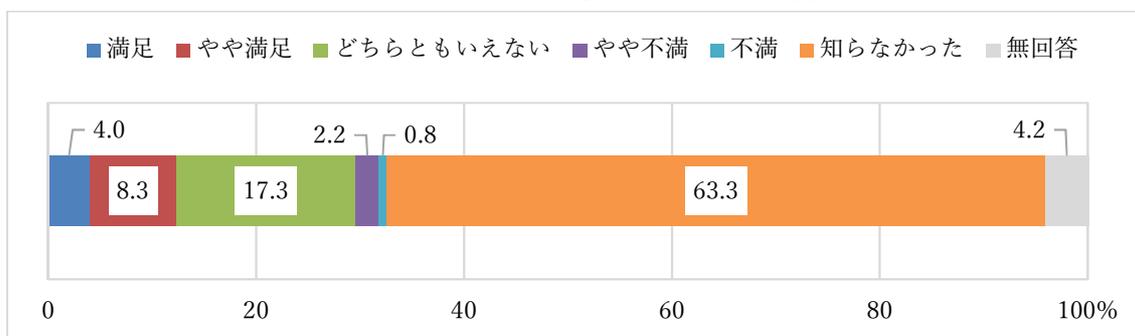
## 9 上下水道局の取組みについて

### 問30 上下水道局ホームページでの情報発信の認知と満足度

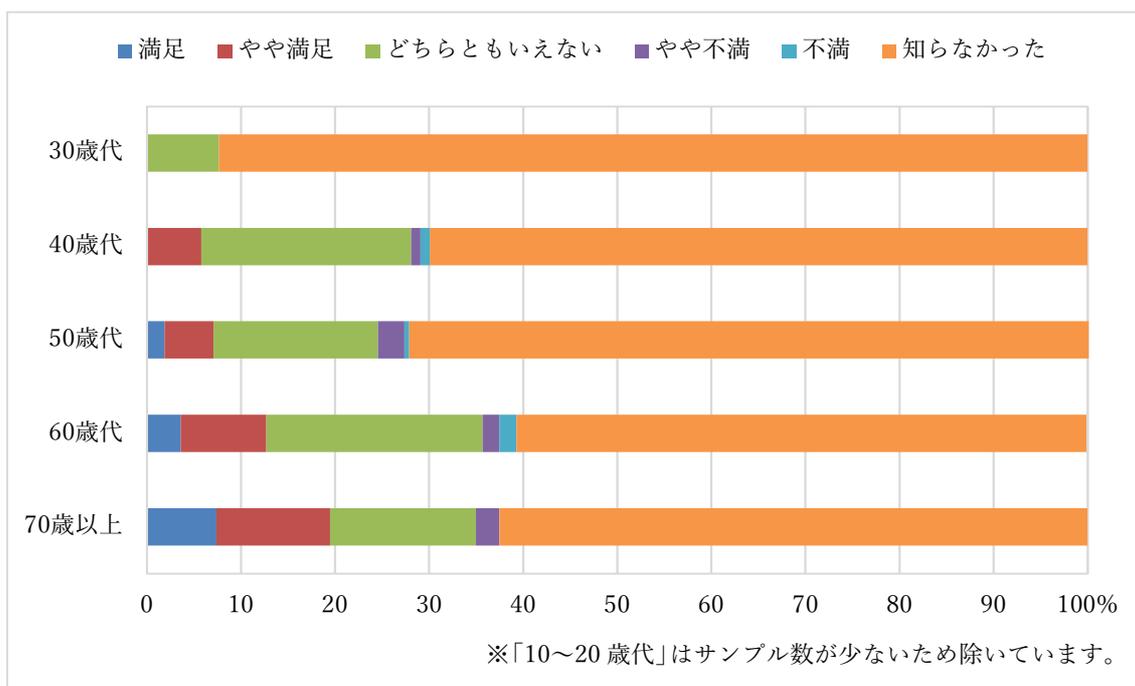
上下水道局のホームページ上で、水質検査結果や上下水道工事情報など上下水道局の取組みについて情報発信していることについて、「知らなかった」と回答した方の割合が63.3%と最も多くなっています。満足だと感じている（「満足」＋「やや満足」）方は12.3%、不満だと感じている（「不満」＋「やや不満」）方は3.0%となりました。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「満足」、「やや満足」と感じる方の割合が増える傾向がみられます。

●上下水道局ホームページでの情報発信の認知と満足度（回答者数 915）



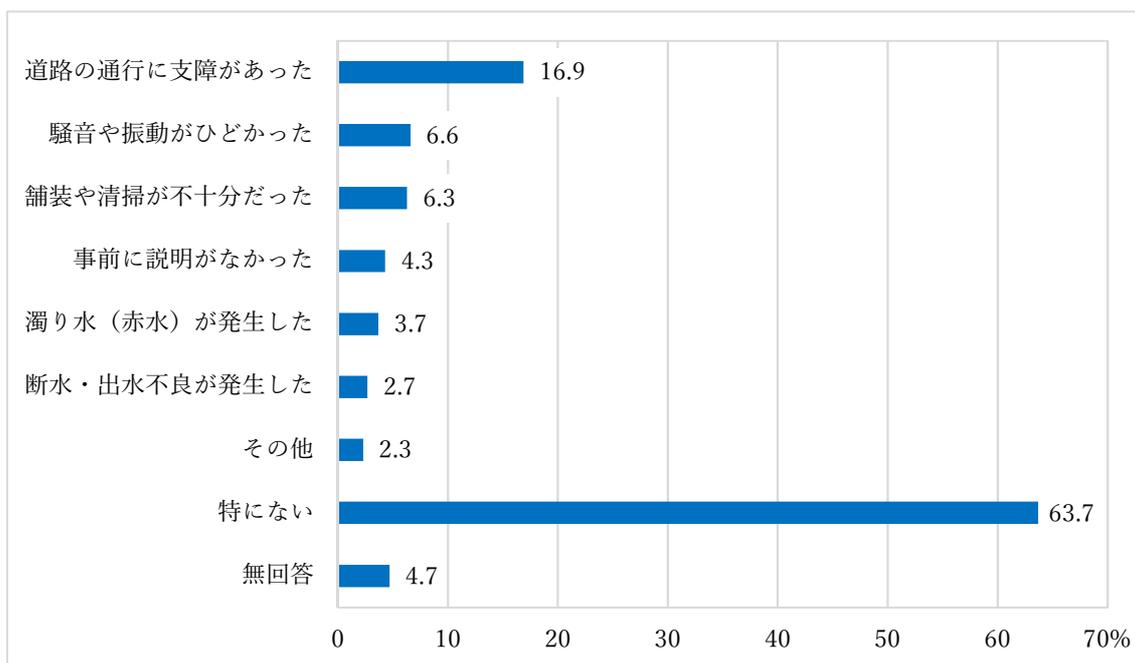
●上下水道局ホームページでの情報発信の認知と満足度（年齢別）



### 問3 1 上下水道局の工事で不満に思ったこと（複数回答）

上下水道局の工事などで不満に思ったことは、「特にない」が63.7%と最も多く、次いで「道路の通行に支障があった」（16.9%）となっています。その他として「同じ場所を何度も工事していることがあるため、計画的に行って欲しい」（4件）、「連絡してから工事まで時間がかかる」（2件）などの意見がありました。

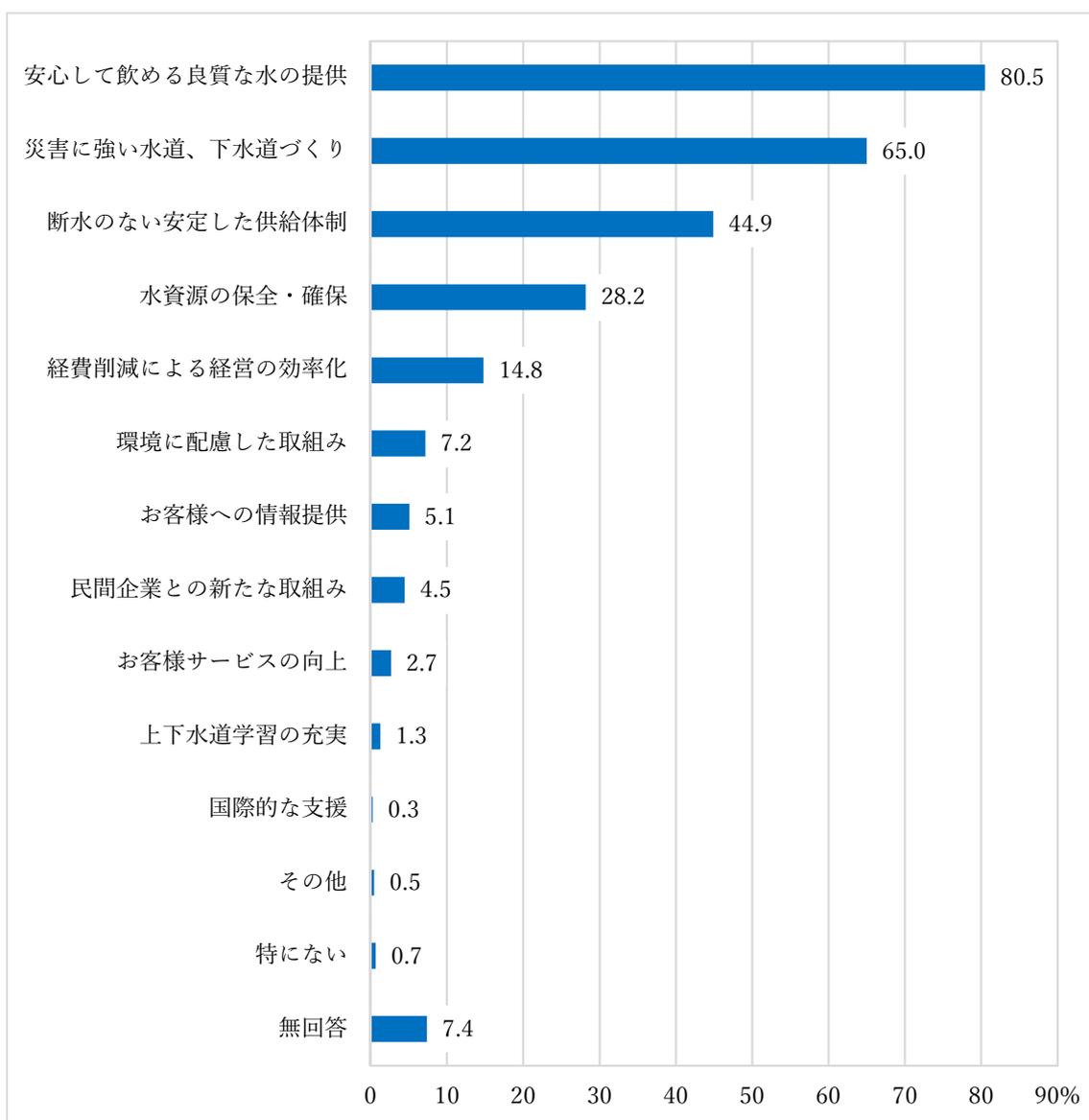
●上下水道局の工事で不満に思ったこと（回答者数 915）



### 問3 2 上下水道局の取組みにおいて重視すべきこと（3つまで）

今後の上下水道局の取組みにおいて、重視すべきと考えることは、「安心して飲める良質な水の提供」が80.5%と最も多く、次いで「災害に強い水道、下水道づくり」(65.0%)、「断水のない安定した供給体制」(44.9%)となっています。

●上下水道局の取組みにおいて重視すべきこと（回答者数 915）

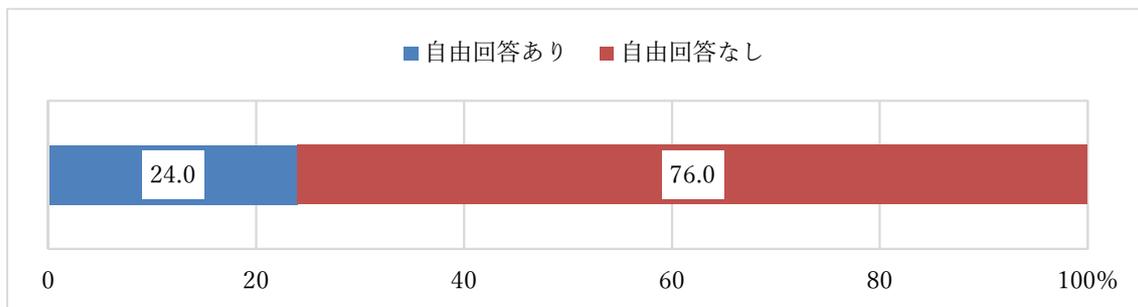


## 10 自由記入欄

### 問33 上下水道局へのご意見・ご要望

上下水道局へご意見・ご要望として、220人の方から自由回答がありました。分野別では「安全・安心な水の提供について」(53件)が最も多く、次いで「水道料金・下水道使用料について」(39件)、「広報活動・情報発信について」(26件)、「経営の改善について」(26件)となっています。(次頁表)なお、1人の回答が複数の分野の内容を含む場合、それぞれの分野の件数として集計しているため、分野別件数の合計が回答者数よりも多くなっています。

●上下水道局へのご意見・ご要望 (回答者数 915)



●上下水道局へのご意見・ご要望（分野別）

（→ ）の内容は上下水道局で補足した内容です。

	件数	内容（抜粋）
安全・安心な水の提供について	53	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも安全・安心な水の提供をありがとうございます。</li> <li>・蛇口をひねるときれいで安全な水が出てくることはありがたい事だと思います。</li> <li>・川口市の水道水はきれいで、断水も少なく、安心して利用しています。</li> <li>・水道水をおいしく飲んでいきます。これからも安全・安心な水の提供を希望します。</li> <li>・安全な水が飲めるように、水質の維持向上を希望します。</li> <li>・埼玉県は水道水の塩素濃度が高いと聞いたことがあります。</li> <li>・毎日使用するものなので、飲み水としての安全性が1番心配です。</li> <li>・川口市の水道水の品質はとても良いと思います。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
水道料金・下水道使用料について	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必須な水道水の料金の値上げには反対です。</li> <li>・川口市は他の市町村と比べて水道料金が高いと感じます。</li> <li>・基本料金が高すぎるため、使用した分だけ支払いたい。</li> <li>・現在の水道管・下水道管などの老朽化を踏まえると、水道料金・下水道使用料の値上げは仕方ないと思います。</li> <li>・水道料金を値上げしてでも、世界一安全・安心な水道水を維持していくべき。</li> <li>・財源不足に対しては、企業債の借入れではなく値上げで対応すべき。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

	件数	内容（抜粋）
広報活動・情報 発信について	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単ですぐ手に入る情報発信を実施してほしい。(LINEの利用など)</li> <li>・上下水道局の活動内容、経営について、水質について、施設の老朽化についてなど積極的に情報発信してほしい。</li> <li>・パソコンやスマートフォンがなくホームページを見ることができない。広報かわぐちやみずぐるま、リーフレットでの情報発信をお願いしたい。</li> <li>・これからは上下水道広報誌「みずぐるま」をしっかり読んでいきたいです。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
経営の改善に ついて	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共性が高い事業であるため、民営化には反対です。</li> <li>・水道事業は国、地方自治体で運営すべき責任のある事業だと思います。</li> <li>・無駄をなくし、効率のよい水道事業の経営を希望します。</li> <li>・計画の見直しも柔軟に行ってほしい。</li> <li>・施設の更新費用はなるべく税金でまかなうようにしてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
水道管・ 下水道管の更新 について	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化（耐用年数）について、もっと情報を発信してほしい。</li> <li>・道路から水があふれている箇所を見かけます。水道管の劣化かと思われます。(→漏水が疑われる場合は、上水道維持課までご連絡ください。)</li> <li>・私道内給水管の布設替えに併せてステンレス化する工事について、費用や日数が知りたい。</li> <li>・自宅付近の水道管の取替工事について、今後の計画を教えてください。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

	件数	内容（抜粋）
水道・ 下水道工事に ついて	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の後、排水溝から悪臭がするようになったため、早急に対応してほしい。</li> <li>・何度も道路を掘り返しているように感じるため、計画的に行ってほしい。</li> <li>・川口市の公共工事はきちんと対応してくれるため、ありがたいと感じています。</li> <li>・炎天下で工事をする作業員の方の健康管理にも重点を置いてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
上下水道 に対する 意識について	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道について、日ごろあまり意識していませんでした。</li> <li>・これからは上下水道について、もっと関心を持ちたいと思います。</li> <li>・日ごろ上下水道には関心がありました。日々感謝の気持ちを持って、水を使用しています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
アンケートに ついて	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のアンケートは勉強になりました。</li> <li>・アンケートを取ってくれるということが、市民の声を気にかけてくれているのだと感じます。</li> <li>・長文で分かりづらく、非効率的なアンケートはやめてほしい。</li> <li>・もっと読みやすく、理解しやすい内容にしてほしかった。</li> <li>・スマートフォンで簡単に行えるようなアンケートも選択できたら便利だと思います。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
安定した水の 提供について	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道に関して不便を感じたことはありません。</li> <li>・いつも安定した水の提供ありがとうございます。</li> <li>・水道は1日でも止まると困るので、これからも断水のない安定した水の提供をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
下水道整備に ついて	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在浄化槽を使用しています。早く下水道の整備をしてほしい。</li> <li>・新築の住宅がどんどん増えているため、今後さらに排水が追い付かなくなるのでは、と不安を感じています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

	件数	内容（抜粋）
おいしい水の提供について	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛇口をひねればおいしい水が飲めることに感謝しています。</li> <li>・飲み水としてはおいしくない。</li> <li>・昔に比べておいしくなっていると思いますが、カルキ臭が気になる時があります。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅前の道路が冠水することがあり困っています。台風や大雨が降るたびに不安を感じています。</li> <li>・東川口駅付近の冠水について、早急に対応をお願いします。</li> <li>・指定給水所・災害用マンホールトイレについて情報がほしい。</li> <li>・川口市は人口が多いため、災害時、指定給水所・災害用マンホールトイレの数が足りないのではと思います。対策を行ってほしい。</li> <li>・使用量や水道料金がアプリで見られるようになると良い。</li> <li>・災害用備蓄ボトル水「川口みず太郎」はどこで購入できますか。（→上下水道局2階で販売しています。）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

※内容については、主だった意見を要約して掲載しています。